

唐土名勝圖會 卷之六

ル 5
3457
6



門 5
號 3457
卷 6

卷



朱來

海山書局藏書

卷之

唐土名勝圖會卷之六目錄

天津府

天津縣

青縣

蘇州府

南皮縣

鹽山縣

慶雲縣

滄州

正定府

正定縣

獲鹿縣

井陘縣

阜平縣

靈壽縣

無極縣

藁城縣

新樂縣

晉州

贊皇縣

順德府

邢臺縣

沙河縣

南和縣

平鄉縣

廣宗縣

鉅鹿縣

唐山縣

內丘縣

任縣

廣平府

廣平府

永年縣

曲周縣

肥鄉縣

雞澤縣

廣平縣

邯鄲縣

威安縣

威縣

清河縣

磁州

唐土名勝圖會

卷之六目一

大名府	元城縣	大名縣	南樂縣	魏縣	清豐縣
東明縣	長垣縣	開州			
宣化府	宣化縣	赤城縣	萬全縣	龍門縣	懷來縣
西寧縣	懷安縣	蔚州	蔚州	延慶州	保安州
遵化州	玉田縣	豐潤縣	豐潤縣		
易州	涿水縣	廣昌縣	廣昌縣		
冀州	南宮縣	新河縣	藁隆縣	武邑縣	
衡水縣	栢鄉縣	隆平縣	高邑縣	臨城縣	
趙州	寧晉縣				
深州	武強縣	饒陽縣	安平縣		
定州	曲陽縣	深澤縣			

唐土名勝圖會卷之六

編述 法橋 岡田玉山尚友
 岡 熊岳文暉
 大原東野民聲
 全 畫



天津府

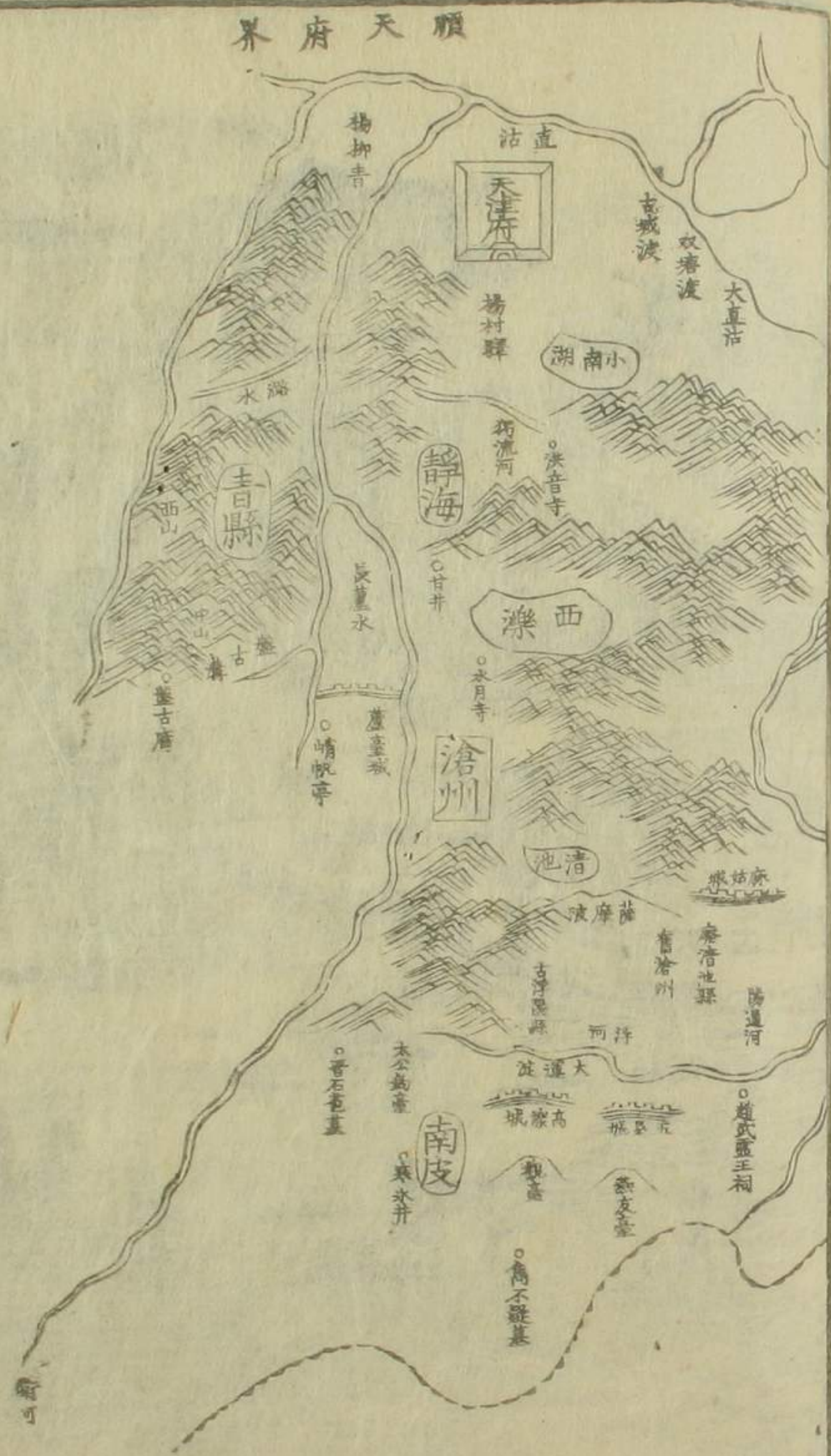
高貢冀州の城天津の地春秋の東陽界なり今乃河間府城の東北
 三百又十里ありて明代河間府乃靜海縣の内屬鎮城二と築
 天津巡檢と設け重兵と宿せしめて此又守りて
 の布方一は小吏治と地と穆民明の永樂中天津衛天津
 を衛天津右衛三城と築き海寇と防ぎて
 一縣あり曰滄州曰天津縣曰靜海縣曰南皮縣曰鹽山縣曰慶雲縣
 以上の州縣明は皆河間府に屬せり但明に興海縣あり天津府より東の方山東省の海南
 今省て靜海縣を小吏治の地天津縣と爲す府治と此也 九天津府より東の方山東省の海南

天津府總圖

天津府 東西三百十里 南北二百八十里餘



順天府界

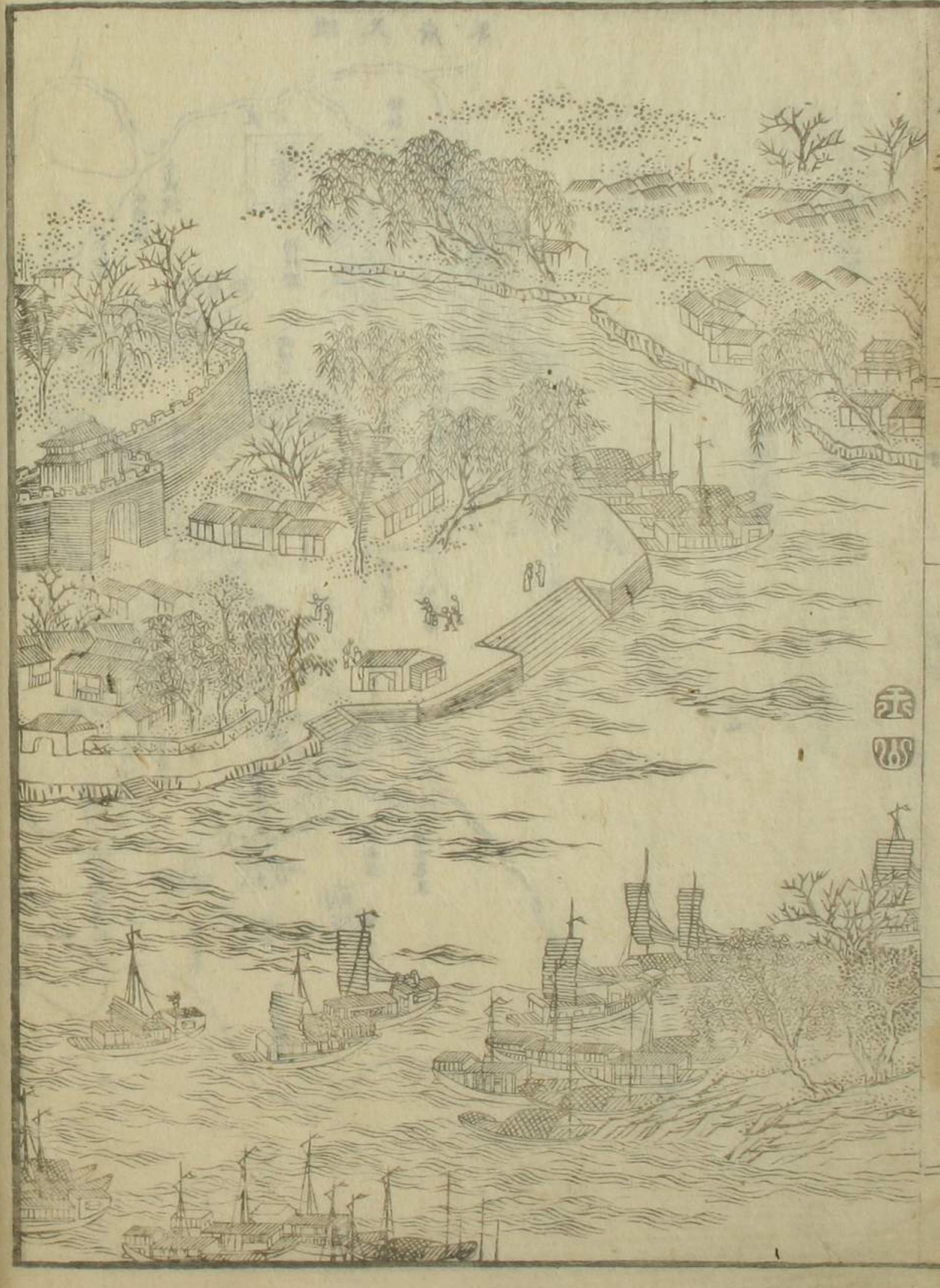
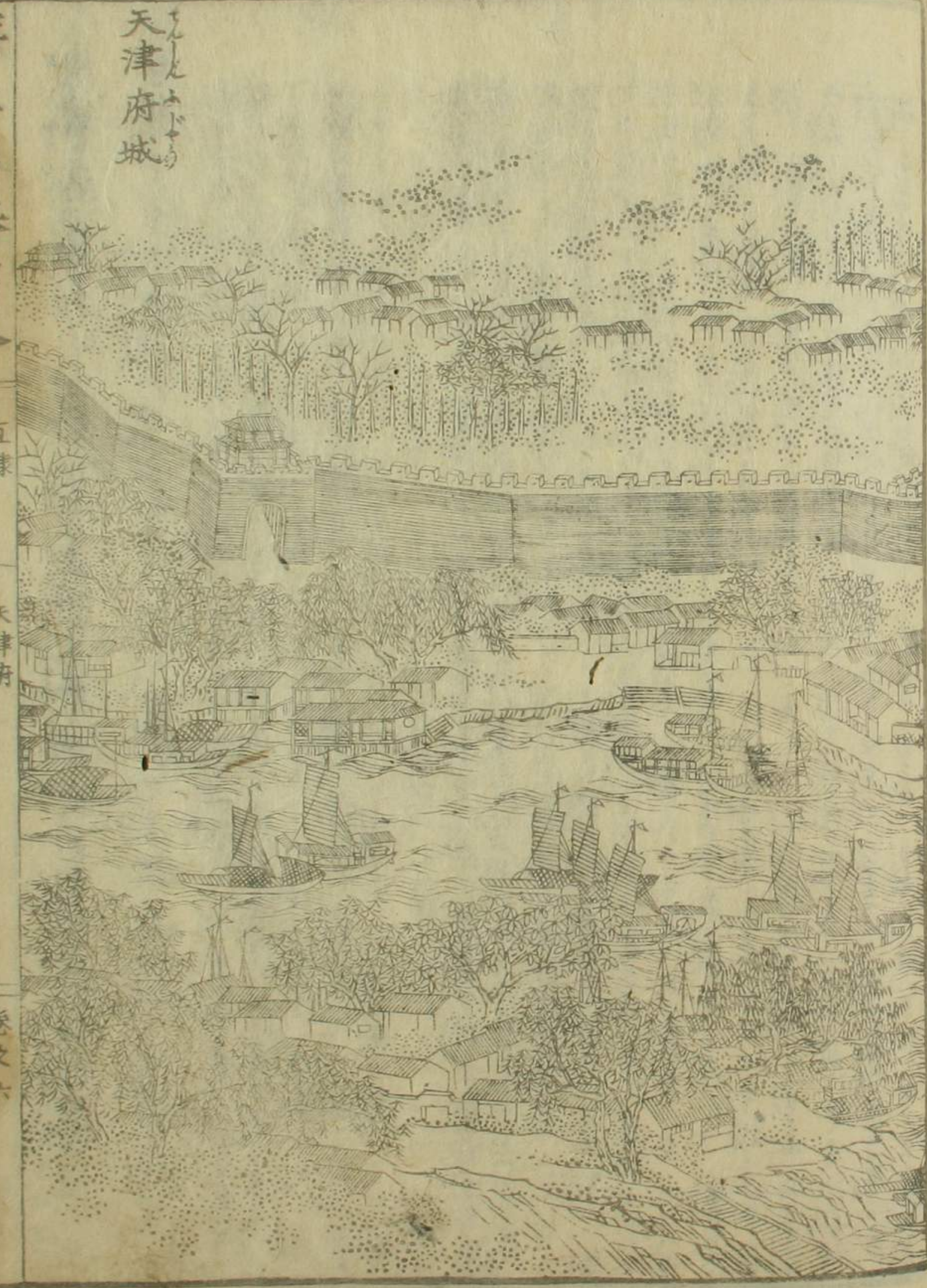


天津府

直隸

卷之六

天津府城



登峭岫亭

明張解

高秋客未還何處生鄉閩喬木蒼煙外
孤亭落照間雨晴山色覺近湖滿水如閑
日新岫陽路歸雪不可攀

龍世脩圖

○人物

元の陳類は涿州の人なり切はして類は方より千言と記誦は蕙らして公名類は仁宗の詔書の如日よりのを聖類真の君のゆふ用き陳仁宗即位して集書を著し後編を稱して聖に類するまふまふ後陳類として大文より陳類なる人の書を後して人の書を後とを感む類して大文と議ん

靜海縣

府の西南九十里ありは涿州の海口寒く其の文毅中後海縣と名づくる其の地の静と改めて類として何府に屬し天津府に屬し編九十里

獨流河

條の末にあり此河滿地金波兼渙野火兼渙火短棹吳歌
明張寧夜泊獨流詩霽月中天出絳河黃流滿地漾金波兼渙野火兼渙火短棹吳歌
雜楚歌去雁已連家信遠關鷗豈識客愁
多江南二月花如錦獨負歸期奈爾何

獨流河

一名杜流淺



直隸

天津府

卷之六

西漂

綠の南より北十餘里秋の末水漲り突智多し蒲葦繁きたり○明張縉西樂詩水國未生秋雨餘家家生計在樵漁短鎌割得乳蘆菰を火船頭煮白食

甘井

綠の南より北十餘里中の井水皆鹹獨此水甘土人稱之曰○明張縉甘井詩誰開古井驛亭中百尺曾聞海眼通六月行人汗如雨轉輒清柳下梧桐

洪音寺

綠の南より北十八里○志の太徳三年三月廿二日洪音寺の寺觀音像を移し來りて樹りて十餘里とあり

縣の東二百里海水の中爲貢送河海に入者即此所なり

未海に入る者即此所なり

人物

○令の所石は津海の入りたる人なり○志の太徳三年三月廿二日

觀臺

綠の南より北二十里○漢の高祖九年

寒水井

綠の南より北二十里○志の太徳三年三月廿二日

觀臺

綠の南より北二十里○漢の高祖九年

晏公公於墓

綠の南より北二十里○漢の高祖九年

應龍羅光青社啓齋封臺基久荒涼草色空蒙
韋蘆葦葦葦選長日夕起凄風
陳璉詩

漢青州刺史雋不疑塚

綠の南より北二十里○漢の高祖九年

晋石苞墓

綠の南より北二十里

石苞墓の墓あり
高と二丈あり

高樂城

漢の高祖九年

人物

○唐の賈耽南はの人なり尚書右僕射と稱し賈耽書と漢の初を著して著て美勤む
疎は地理に書き於て嘗て邠城十道記と著し其時善無恙と曰く徐徳公著と謂は

鹽山縣

滄州より東九十里○春秋の無棣邑なり漢の高祖九年と晉の徐徳公著と謂は
綠は後と陸山緑と改む此地陸山とを名と今徐徳公著と謂は

綠の南七十里○即海の岸方なりその海潮なり
魏の志に書き於て其地鹹く里人着て陸と名せり

蓬山

綠の東南に十里あり○又十里と關山
○小山 綠の東なり
○鹽山 綠の東南に十里あり

漢武墓

漢武墓の墓あり

七女陵

漢の墓あり

倒攀井

漢武墓の墓あり

綠の南より北二十里

綠の南より北二十里

人物

○漢の武帝は渤海高麗の入りたり漢郎と名を置きて漢武墓と稱して漢武の墓なり

漢の武帝は渤海高麗の入りたり漢郎と名を置きて漢武墓と稱して漢武の墓なり

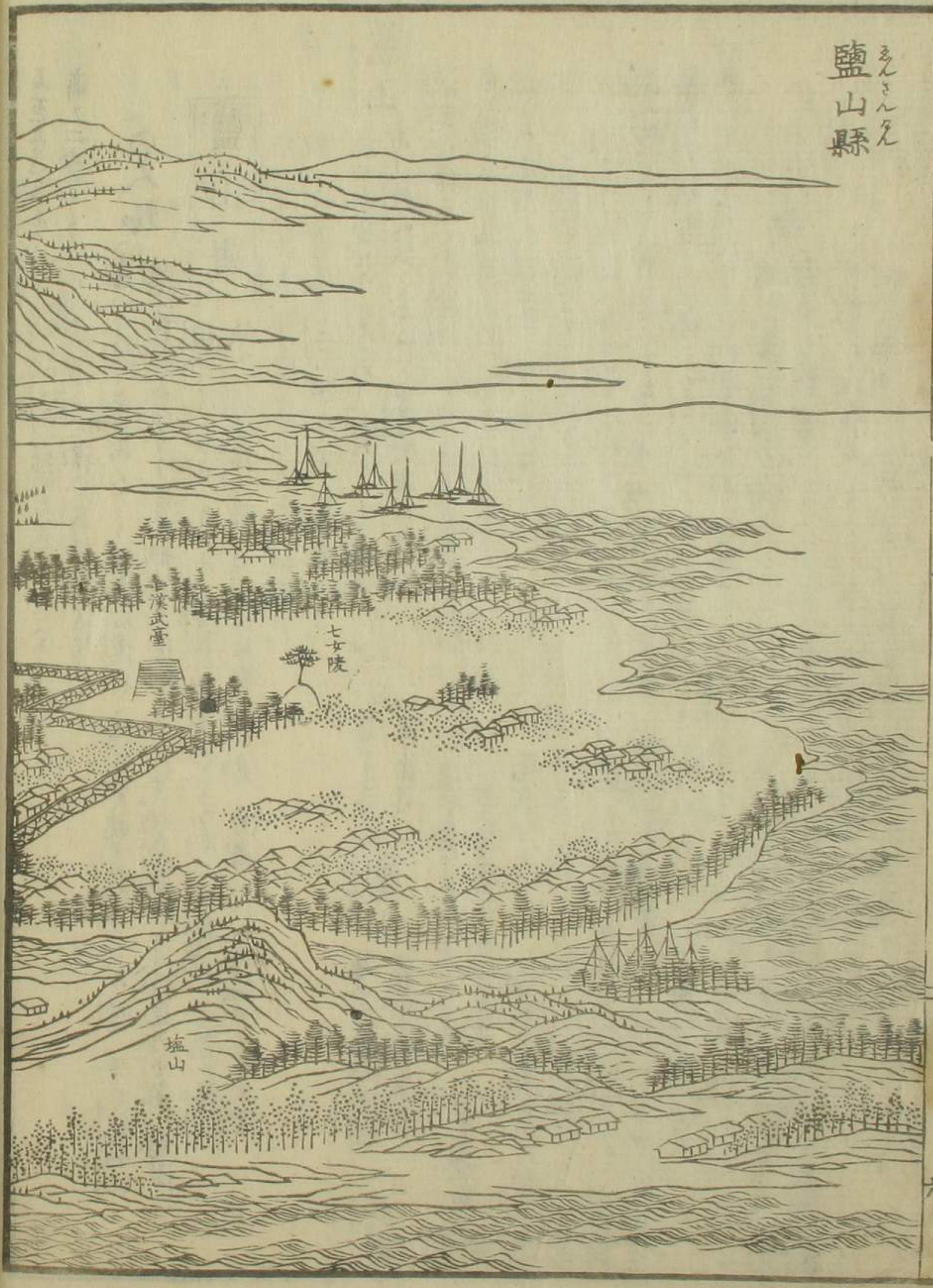
直隸

天津府

卷之六



鹽山縣



慶雲縣

新河

府の南二百二十里あり。魏國の齊の小澤あり。漢の陽信縣の地。凡隋の時、交州、信安、永樂の三州を合して、永樂の地を以て、永樂縣と號す。後、唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

滄州

府の西南百二十里あり。春秋、魏國の燕、燕、二國の境。漢、渤海郡を置き、渤海國と號す。後、魏の附、唐の太宗、渤海郡を改て、渤海郡と號す。唐の太宗、渤海郡を改て、渤海郡と號す。唐の太宗、渤海郡を改て、渤海郡と號す。

後河

滄州の南十里あり。東、老河の南の界。永樂縣あり。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

毛公舟

滄州の南十里あり。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

鐵獅子

滄州の南十里あり。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

趙武靈王祠

滄州の南十里あり。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

禹貢九河

滄州の南十里あり。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

人物

漢の魏、宣帝乃附。渤海の地。凡隋の時、交州、信安、永樂の三州を合して、永樂の地を以て、永樂縣と號す。後、唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。唐の太宗、永樂縣を改て、永樂縣と號す。

直隸

天津府

卷之六

其劍を愛しめて利と愛い刀を愛して、操と愛しめ民の勤と教をわすれず、
 郡中を治め、城を治り、民を治り、
 無不怒、渤海の人を、春秋を治め、
 青州の刺史も、昭帝の附、永光の尹、
 と福して、遷り、其母平らむるを、
 かりて、養うて、養うて、
 新の郡、白、滄州、
 地、
 ちと奉るの制、
 と、
 桓氏の漢の附、
 て、
 吾人、先生の徳と、
 飽、
 と、
 石、
 日、

正定府

禹貢冀州の域、周の并州の地、春秋鮮虞國の屬、漢の并州の國、

秦、
 州を置、
 定府、
 清、
 日、
 縣、
 定州、
 九、
 九、

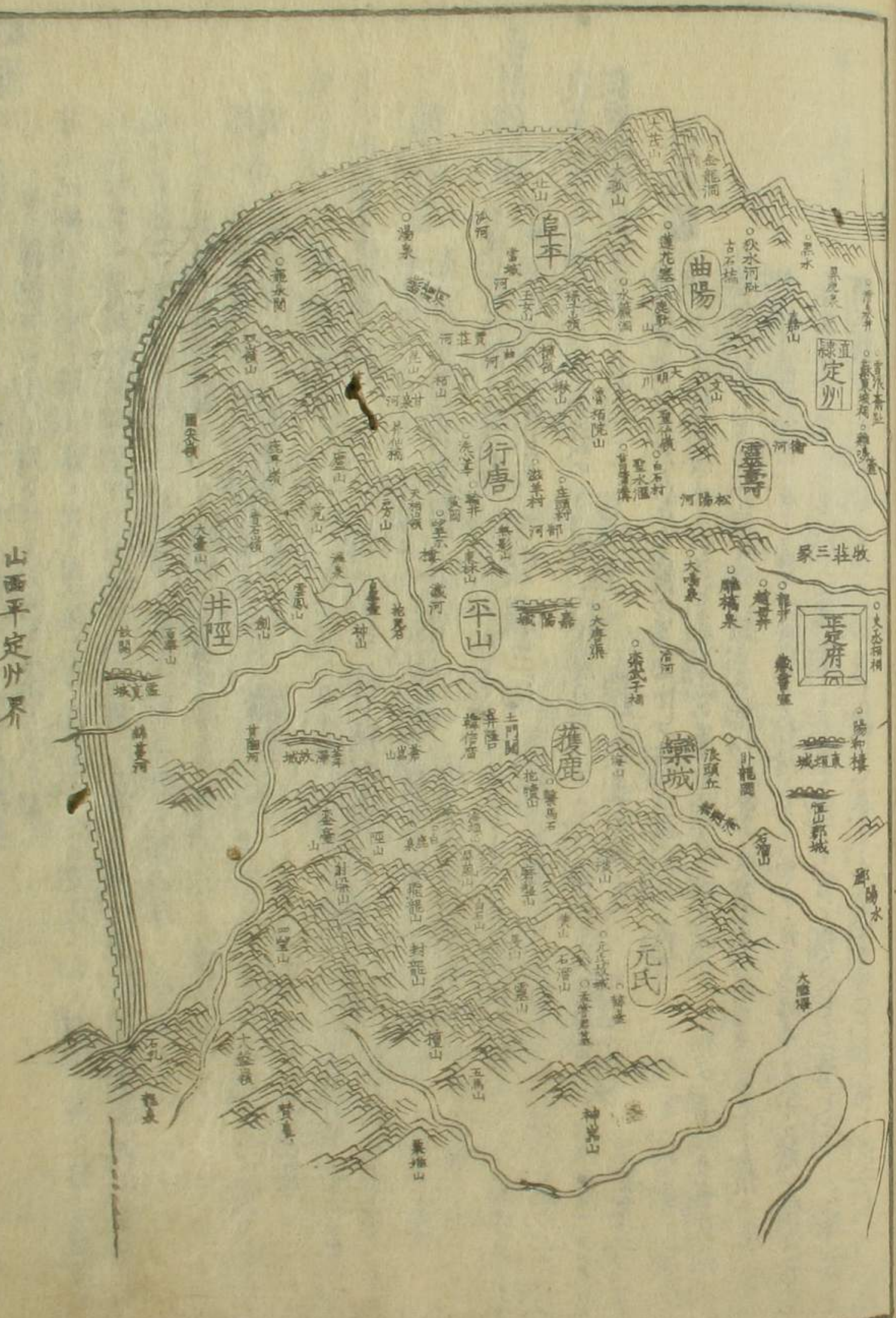
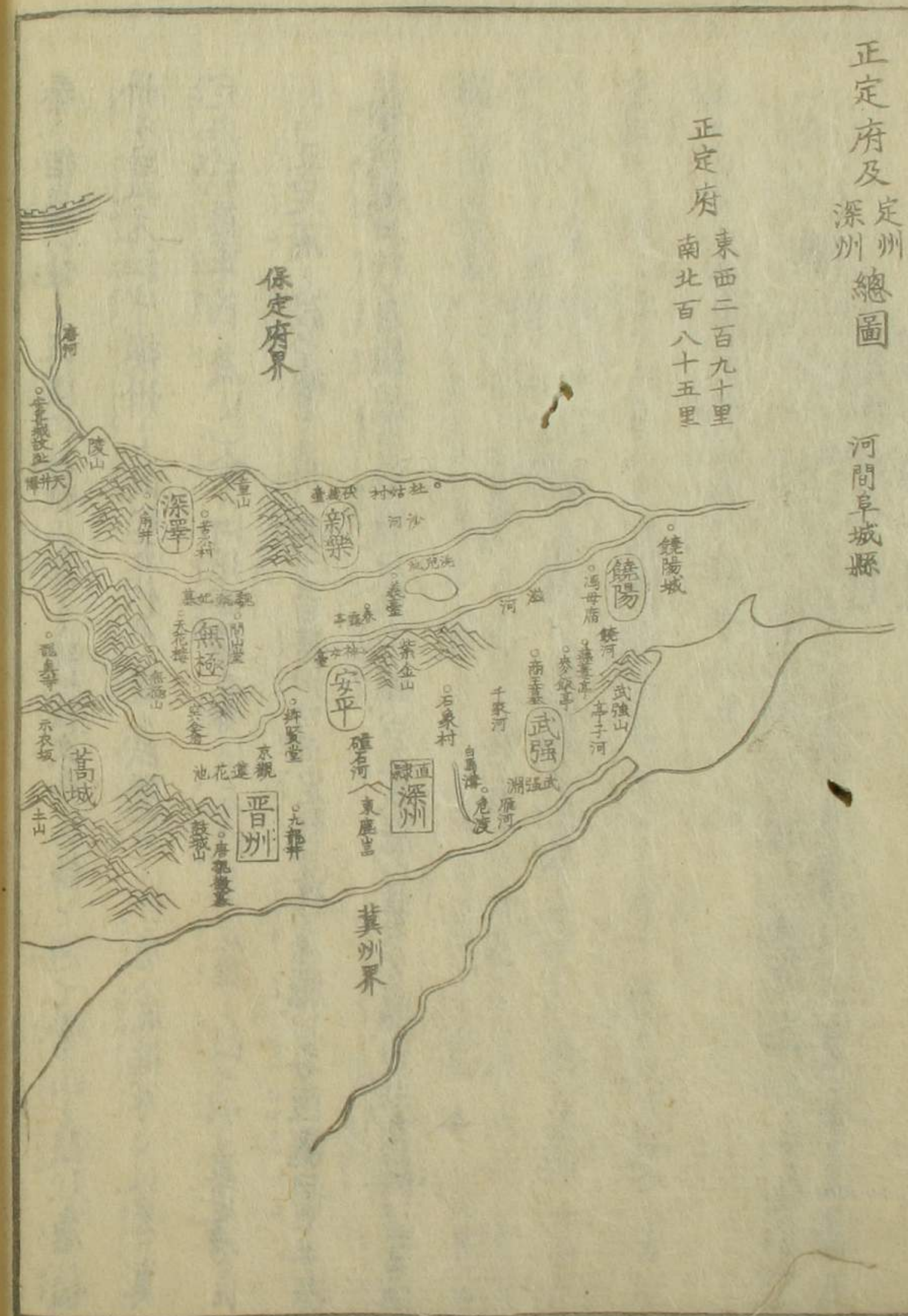
正定縣

府、
 改、
 正、
 定、

正定府及深州總圖

正定府 東西二百九十里
南北百八十五里

河間阜城縣



山西平定州界

此乃秦王と欺ひて後漢王を後漢者の様にして先く謂ふ降りし。保身とて命を奉り侍。秦王攻かりしとて漢と加ひて謂ふ久く。謂王簡相如とて上をまじらぬ。廉頗は趙人なり。秦王の侍兵の如く。月と代て去り。晋陽とて上を御し。勇死とて其名滿侯。安んず。強秦に兵を請ふ。加へる。廉頗一人の勇。よき。謂ひ云。廉頗は勇なり。喜ぶ。まじり。合意。富。材。人。を。扶。け。世。平。原。君。と。稱。し。秦。兵。請。の。邯。鄲。と。圍。む。平。原。君。死。す。三。子。人。と。得。て。秦。の。軍。と。合。し。齊。の。孟。嘗。楚。の。春。申。魏。の。信。張。後。ま。じ。り。家。と。稱。し。云。

○三國の魏。直。常。山。の。人。なり。昭。烈。嘗。て。曹。操。を。討。つ。小。兵。ら。も。妻。子。と。棄。て。南。に。去。り。時。魏。騎。將。曹。操。は。百。萬。の。軍。馬。を。起。て。追。つ。魏。の。妻。子。と。備。護。し。遂。に。免。れ。し。を。得。し。涇。水。に。軍。を。置。き。封。せ。り。関。張。馬。美。と。傳。ふ。蜀。の。大。虎。ね。軍。と。稱。せ。り。

○唐の李。賀。字。子。丹。滑。州。の。人。なり。氏。姓。の。家。に。通。じ。世。内。藩。と。号。し。唐。世。南。は。石。山。東。の。人。物。と。論。し。て。嘆。し。て。曰。く。内。藩。真。は。長。を。一。と。

○宋の青。嶺。德。真。常。山。の。人。なり。勇。武。倫。と。絶。し。性。簡。率。直。て。小。節。を。拘。ら。ぬ。周。の。世。に。後。に。小。漢。南。唐。と。討。て。皆。を。破。り。侍。衛。馬。軍。都。指。揮。使。と。あり。宋。の。時。に。石。山。東。に。後。涇。水。及。び。揚。州。と。征。し。功。を。た。し。平。原。君。と。加。へ。る。の。附。冀。國。を。封。せ。り。

○宋の王。德。用。滑。州。の。人。なり。勇。武。と。功。あり。集。慶。軍。節。度。使。と。あり。石。山。東。と。稱。し。名。置。す。皮。也。狀。貌。雄。毅。其。面。極。て。黑。く。依。て。黑。王。相。と。号。し。

○魏の朱。叔。真。字。の。人。なり。其。姓。又。記。云。條。で。涇。水。に。材。と。分。つ。朱。叔。其。才。糧。を。潤。て。曰。く。子。丹。朱。叔。一。丘。石。谷。公。異。は。財。と。分。つ。や。と。其。の。妻。と。り。今。く。か。奉。と。て。之。と。焚。後。與。て。同。居。り。

○魏の賈。思。真。字。の。人。なり。其。姓。又。記。云。條。で。涇。水。に。材。と。分。つ。朱。叔。其。才。糧。を。潤。て。曰。く。子。丹。朱。叔。一。丘。石。谷。公。異。は。財。と。分。つ。や。と。其。の。妻。と。り。今。く。か。奉。と。て。之。と。焚。後。與。て。同。居。り。

獲鹿縣

府の西南八十里あり。中。山。國。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。と。史。記。に。つ。き。即。此。石。山。東。に。在。り。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。と。史。記。に。つ。き。即。此。石。山。東。に。在。り。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

汶水

條の西南八十里あり。水。注。言。云。汶。水。也。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

海山

條の東北八十里あり。下。に。宛。り。て。泉。涌。水。の。崖。間。に。石。橋。あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

抱懷山

條の西南八十里あり。山。の。南。に。石。洞。あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

橫山

條の東南八十里あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

屏風山

條の西南八十里あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

海螺山

條の西南八十里あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

白麻泉

條の西南八十里あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

繫馬石

條の西南八十里あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

雁門関

條の西南八十里あり。嶺。の。石。山。東。に。在。り。嶺。の。武。靈。王。三。十。一。年。中。山。と。表。し。石。山。東。と。表。し。

解者竊言信者事也... 于分兵也... 生軍亦城項之去... 當在奪高... 受得世皇英... 體強遠... 謹誌... 自予... 老... 聖教... 名... 水... 象... 山... 百... 亦... 亦... 亦...

元劉因韓信 廟待

卷之六 義書



趙王塚 綠城の南あり大小の墓塚三
あり。魏國の趙王代々の墓なり。
石邑城 綠城の北あり。史記云魏の武靈王
中山とまて石邑とまて即此なり。

史天澤墓

緑の東三十里あり。天澤、永清の人なり。
つらく龍並相なり。率して此に葬る。

平陸縣

正定府の西南百五十里あり。漢の代の舊縣なり。唐の武州なり。
金の附威州なり。元後母澤縣と改稱されし。後編戸十二里。

綿蔓河

緑城の南門の外あり。源は山西平定州なり。後漢の魏帝嘗て狩を
代射綿蔓を狩りて。魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を
代射綿蔓を狩りて。魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

甘陶河

緑の東南十五里あり。石邑治河綿蔓水
と綿蔓水合て平山綿蔓と澤陶河なり。

神山

緑の東十五里あり。
七十里の神祠なり。

射梁山

緑の東南十五里あり。秦の昭王
魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

蒼山

緑の東南七十里あり。石邑あり。魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

百華山

緑の西十里あり。魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

青石山

緑の北三十里あり。
魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

故關

緑の西あり。山あり。
乃平定州の魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

葦澤城

緑の北二十里あり。魏の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

阜平縣

正定府の西百二十里あり。乃唐魏の地。唐の魏王魏の魏王に。後漢の魏帝嘗て狩を

綿曼河

釋信兵と率て
 彌を及び廣密
 壯騎一白人と
 彌人ぬ赤
 彌一とおし同
 彌の軍と
 彌令して曰く彌軍
 彌我を虜て
 彌とて彌か必獲と
 彌我と逸也其
 彌汝若疾執獲又
 彌の彌と扱して漢の
 彌懐を立し且軍年
 彌皆立し食して大
 食とて彌の彌と
 彌て獲獲兵報とほ
 彌車高其言と信せ
 彌女 彌信乃一万人の軍
 彌率とて綿曼水乃大河
 彌を背りて陣と張せ自ら



六

兵を引て井津河とて彌軍
 向彌一彌軍と見て水と背
 彌とて彌の品を彌と討
 彌中へ追及せし彌軍
 兵とて彌よる良吏
 彌信伴負て旗を彌
 水上の軍とて彌
 彌とて彌して彌信と
 彌彌信が水上の軍
 水と背日し彌が地
 彌れれ彌れ彌れ
 彌勢の破るべし
 彌軍勝るを彌に退て
 彌入る彌とて彌
 彌の赤懐凡の彌
 彌とて彌し彌とて
 彌兵交り彌て彌
 彌若彌餘を彌水の上
 彌彌三歌を彌
 彌彌信が背水の陣と



直隸

正定府

卷之六

大孤山 縣の東北にあり流河の水
隈に在り其地は小孤山あり

大孤山 朱熹詩

西孤去百里宛在中流半
匪獨取勝殊上守二
變昏且大梯鬼斧開廟火
神鴉古殿始雪月
輝磨胡星燦空水既澄鮮
浮光三陵亂飄漚
冷風恍惚度銀漢未
有停典情空深逝者
嘆

吾為漢世志畫西園

○北山 縣の東北にあり流河の水
隈に在り其地は小孤山あり

○鹿跡山 縣の東北にあり其
地は鹿跡山あり

○大孤山 縣の東北にあり其
地は大孤山あり

○水簾洞 縣の東北にあり其
地は水簾洞あり

水簾洞



關三峽圖會

直隸

正定府

卷之六

○金龍洞

條の北五十里あり、洞の即地津津山

○流河

南に流れて澤池河に入る

○燕脂

○湯泉

條の西六十里あり、湯泉の泉あり、湯泉の泉あり

○華陽亭

條の南にあり、亭あり、亭あり

條の南にあり、亭あり、亭あり

靈武縣

府城の南六十里あり、春秋晋の靈武を封邑たり、漢に魏と改む

波河

條の南にあり、波河の南にあり

○治河

條の西六十里あり、治河の南にあり

○龍潭

條の南にあり、潭あり、潭あり

○卧龍岡

條の南にあり、岡あり、岡あり

○浪頭丘

條の南にあり、丘あり、丘あり

○人物

○靈武子祠 條の西六十里あり、祠あり、祠あり

仍唐縣

府城の南六十里あり、仍唐縣の南にあり

都河

條の南にあり、都河の南にあり

○甘泉河

條の西六十里あり、甘泉河の南にあり

○曲河

條の南にあり、曲河の南にあり

○賈莊

河

條の南にあり、河の南にあり

○倒馬関水

條の南にあり、関水の南にあり

○輪舟

條の南にあり、輪舟の南にあり

○洗墨池

條の南にあり、池あり、池あり

○玉女山

條の南にあり、玉女山の南にあり

○栢山

條の南にあり、栢山の南にあり

○箕山

條の南にあり、箕山の南にあり

○毘山

條の南にあり、毘山の南にあり

○雙嶺山

條の南にあり、雙嶺山の南にあり

○無穀山

條の南にあり、無穀山の南にあり

○洗心亭

條の南にあり、洗心亭の南にあり

○昇僊橋

條の南にあり、橋あり、橋あり

○人物

○靈壽縣 條の南にあり、縣あり、縣あり

靈壽縣

府城の南六十里あり、靈壽縣の南にあり

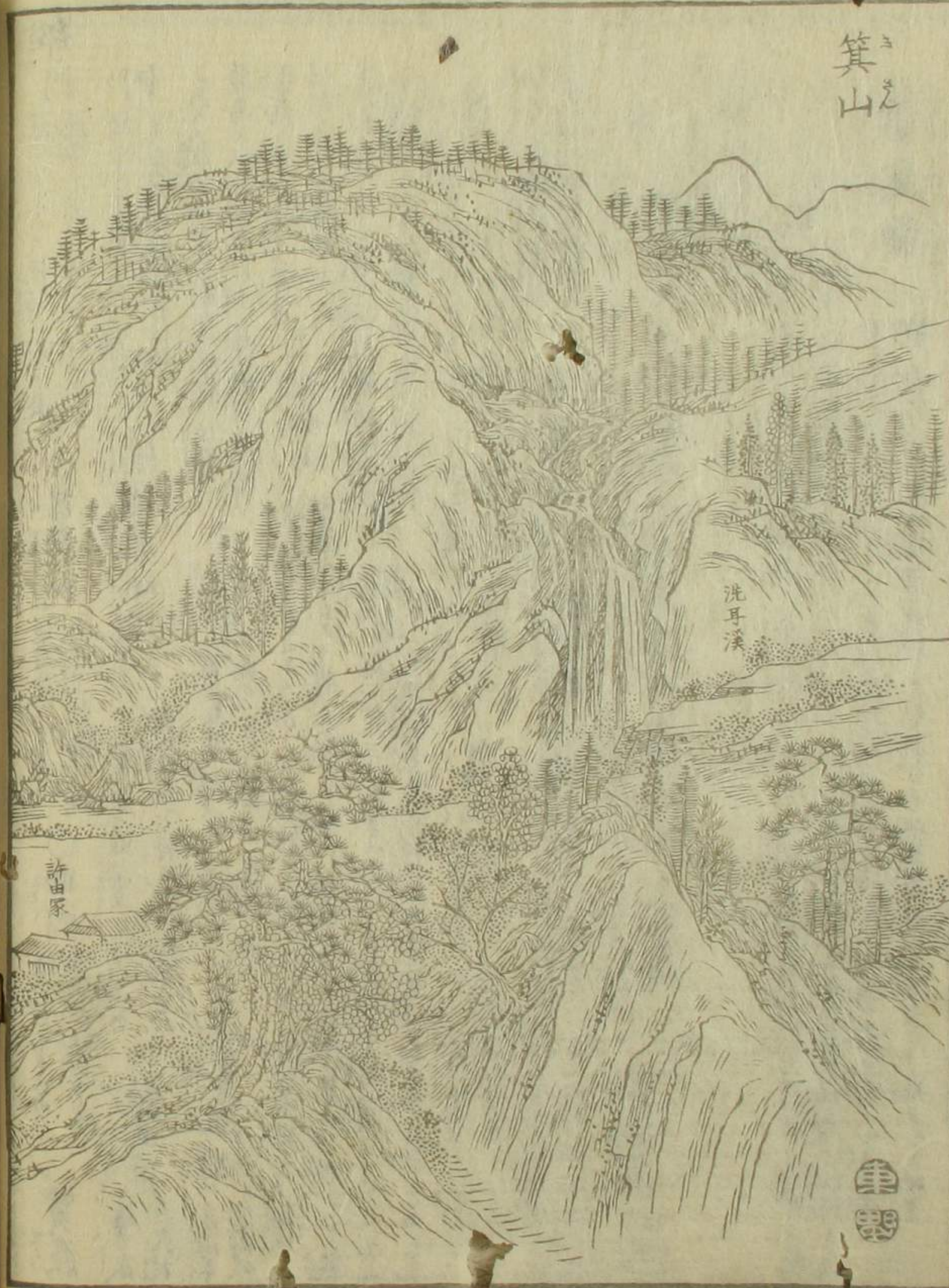
○人物

○靈壽縣 條の南にあり、縣あり、縣あり

○靈壽縣

府城の南六十里あり、靈壽縣の南にあり

箕山



洗耳溪

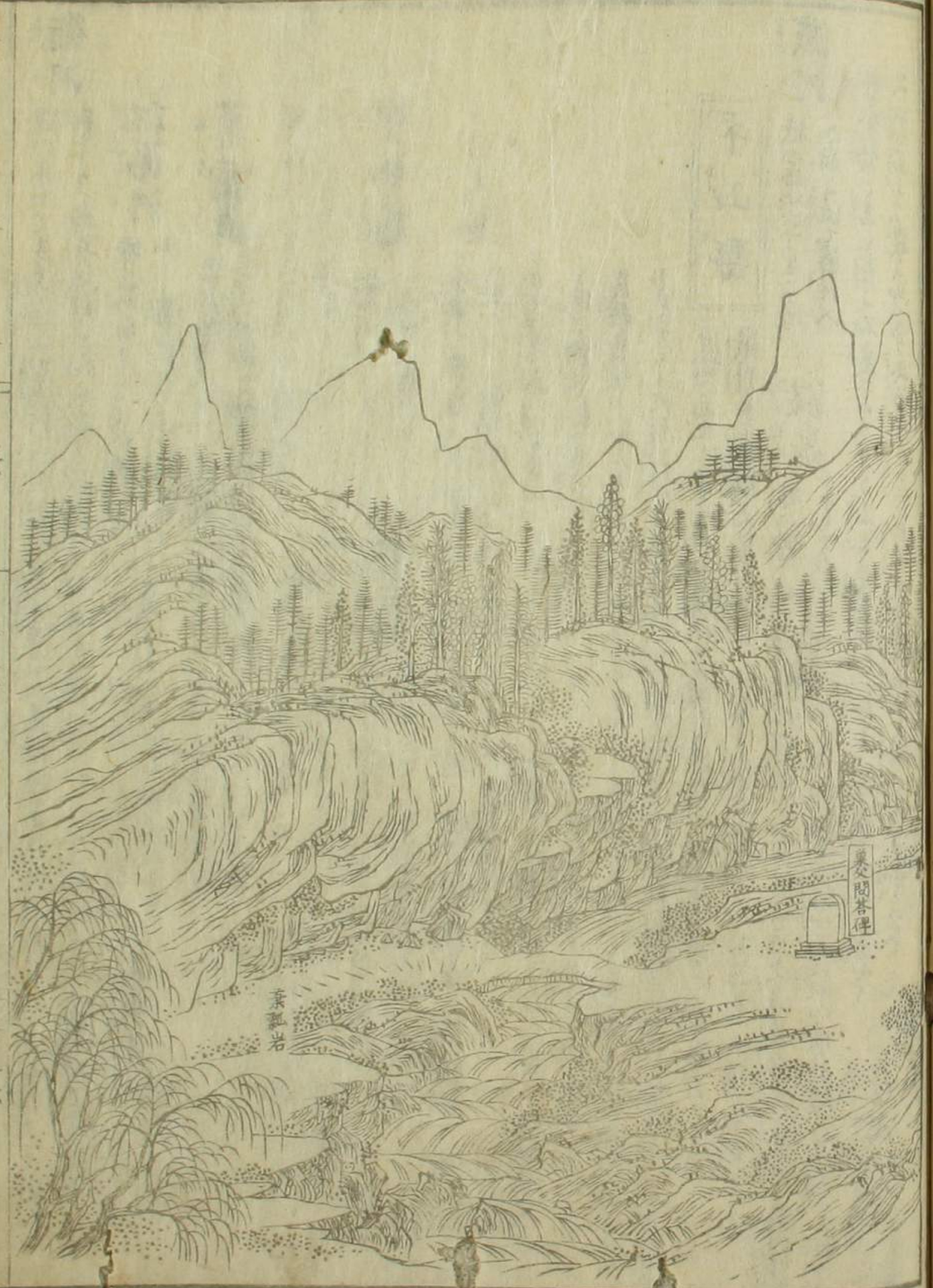
許由家

車嬰

直隸

正定府

卷之六



梁父閣塔碑

黃龍岩

衛河 孫の東に十里あり。一云衛河と云河向東流。孫州城及び孫橋孫赤光孫乃思と云々。衛河とは

○松陽河 孫の南にあり。源松陽山。孫の南にあり。源松陽山。孫の南にあり。源松陽山。孫の南にあり。源松陽山。

○葛蒲溝 孫乃西に三十里。孫赤光の傍にあり。此溝は葛蒲溝と云々。葛蒲溝と云々。葛蒲溝と云々。

文山 孫の西に十里あり。上は周の文王の廟あり。其の廟に龍池あり。水極て清し。

○聖佛巖 孫の西に十里あり。上は石佛像あり。孫の西に十里あり。上は石佛像あり。

○人物 孫の國の樂毅は燕の臣なり。魏王の召を以て燕に來り。魏王の召を以て燕に來り。

○秋山 孫の西に十里あり。山は秋山と云々。孫の西に十里あり。山は秋山と云々。

○魯柏院山 孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。

平山縣

平山縣 孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。

○漫水 孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。

○赤林山 孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。

○房山 孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。孫の西に十里あり。

樂毅

樂毅 國言即墨子也。三年不下項之燕。昭王患之。立惠王。聞齊田單反間。疑毅乃使騎劫代將。而召樂毅。遂奔趙。王與樂毅謀伐燕。毅曰。臣嘗昔之事昭王。猶今日之事大王也。若復得罪在他國。終身不敢謀趙之奴隸。况乎孫乎。趙王乃止。而封毅於觀津。望諸君。



直隸

正定府

直隸

正定府

卷之六

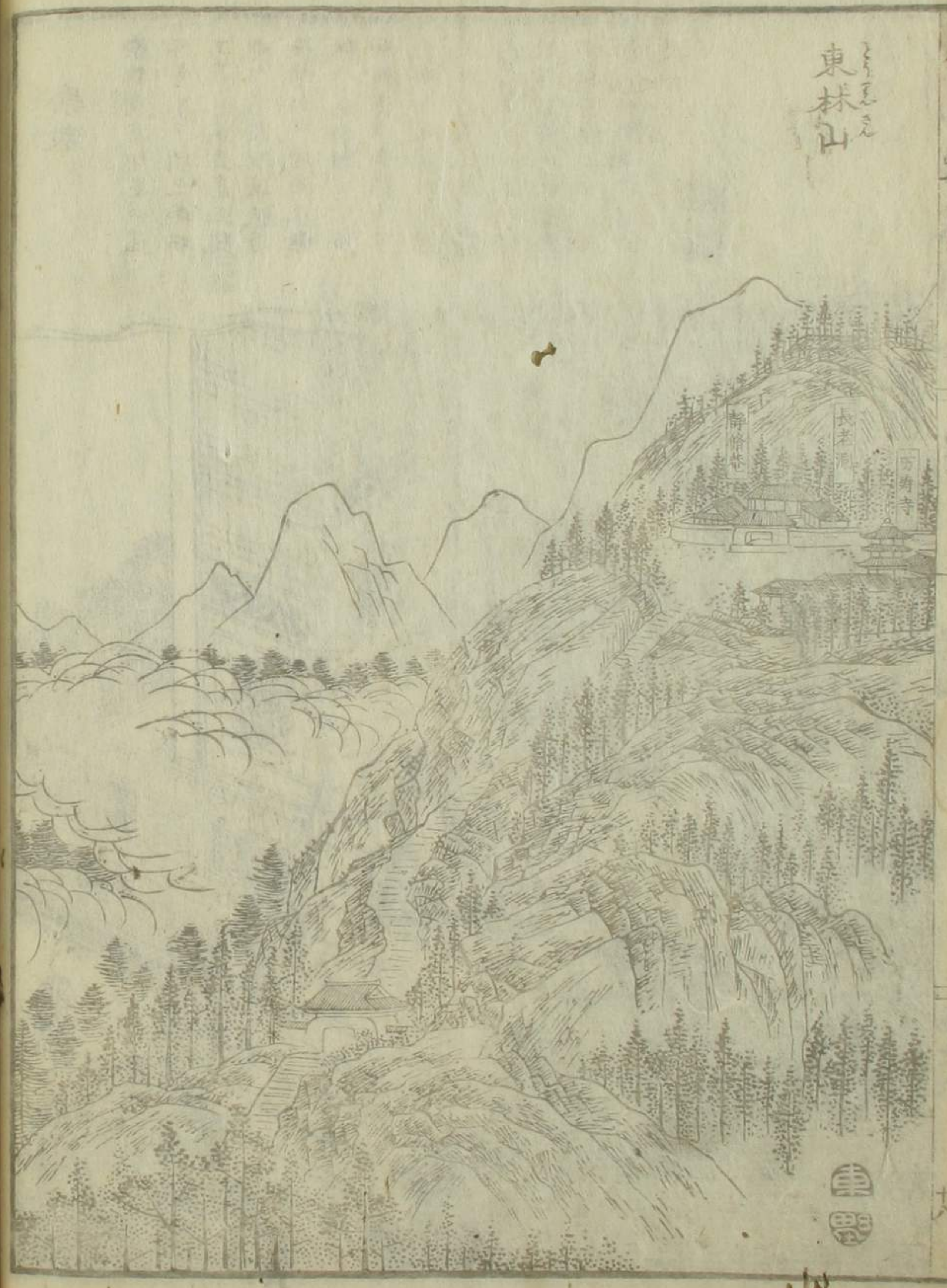


西林山

松峯

試心石

東林山



東林山

六

嘉州府... 嘉州府之南... 嘉州府之北... 嘉州府之東... 嘉州府之西... 嘉州府之南... 嘉州府之北... 嘉州府之東... 嘉州府之西...

望京樓

冠氏縣

槐水

神山

雲山

封龍山

白石山

黃石山

石溜山

龍井

公角井

龍首山

然耳峯

白雲洞

割斷山

五骨若老

元氏故城

贊皇縣

人物

贊皇縣

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

人物... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

贊皇縣... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西... 贊皇縣之南... 贊皇縣之北... 贊皇縣之東... 贊皇縣之西...

封龍山



直隸

正定府

卷之六



里あり即韓信此河上二城餘と作る

檀山 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇五馬山 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇五馬山 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇五馬山 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇石乳龍泉 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇石乳龍泉 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇石乳龍泉 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇十八盤 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇十八盤 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇十八盤 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇懸崖 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇懸崖 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇懸崖 係の西四十里ありりる三百餘丈

登臨逸客倚危欄
 衣袂春風尚怯寒
 近水遠山都在眼
 不須重展畫圖看
 梁車史登環山亭詩

〇人物 唐の書 韓信 韓信の西四十里ありりる三百餘丈
 〇人物 唐の書 韓信 韓信の西四十里ありりる三百餘丈
 〇人物 唐の書 韓信 韓信の西四十里ありりる三百餘丈

張文正祠 係の西四十里ありりる三百餘丈
 張文正祠 係の西四十里ありりる三百餘丈
 張文正祠 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇無極縣 府城の東八十里ありりる三百餘丈
 〇無極縣 府城の東八十里ありりる三百餘丈
 〇無極縣 府城の東八十里ありりる三百餘丈

〇空谷齋 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇空谷齋 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇空谷齋 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇魏甄妃墓 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇魏甄妃墓 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇魏甄妃墓 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇同山堂 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇同山堂 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇同山堂 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇人物 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇人物 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇人物 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇交板山 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇交板山 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇交板山 係の西四十里ありりる三百餘丈

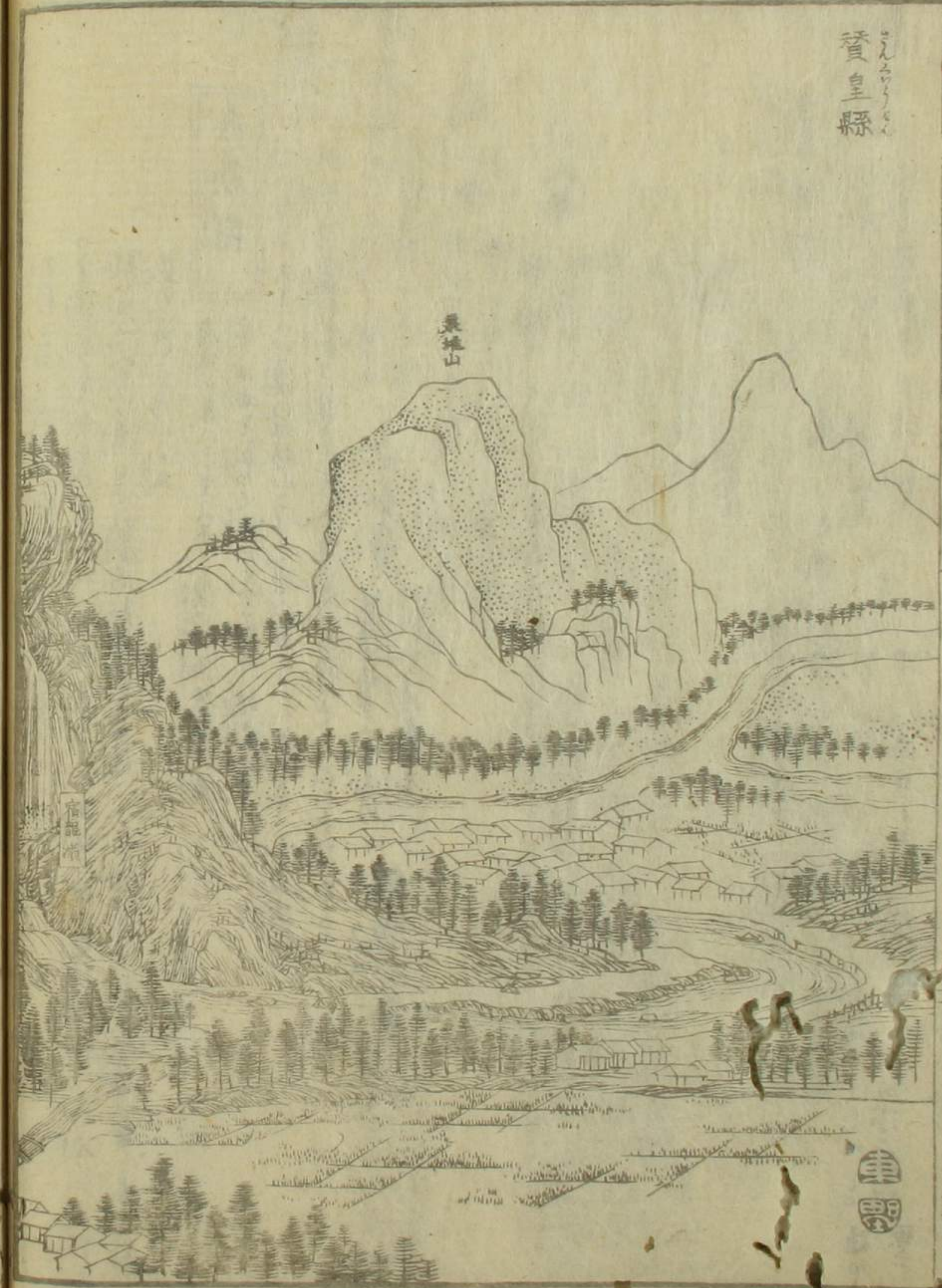
天苑樓 係の西四十里ありりる三百餘丈
 天苑樓 係の西四十里ありりる三百餘丈
 天苑樓 係の西四十里ありりる三百餘丈

〇蒙城縣 府城の東南二十里ありりる三百餘丈
 〇蒙城縣 府城の東南二十里ありりる三百餘丈
 〇蒙城縣 府城の東南二十里ありりる三百餘丈

〇示衣板 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇示衣板 係の西四十里ありりる三百餘丈
 〇示衣板 係の西四十里ありりる三百餘丈

鄴陽水 係の西四十里ありりる三百餘丈
 鄴陽水 係の西四十里ありりる三百餘丈
 鄴陽水 係の西四十里ありりる三百餘丈

資皇縣



車

直隸

正定府

卷之六



資皇山

里大路の傍より... 藤原の... 藤原の... 藤原の...

○人物

九の... 藤原の... 藤原の... 藤原の...

新樂縣

沙河

河の... 沙河の... 沙河の...

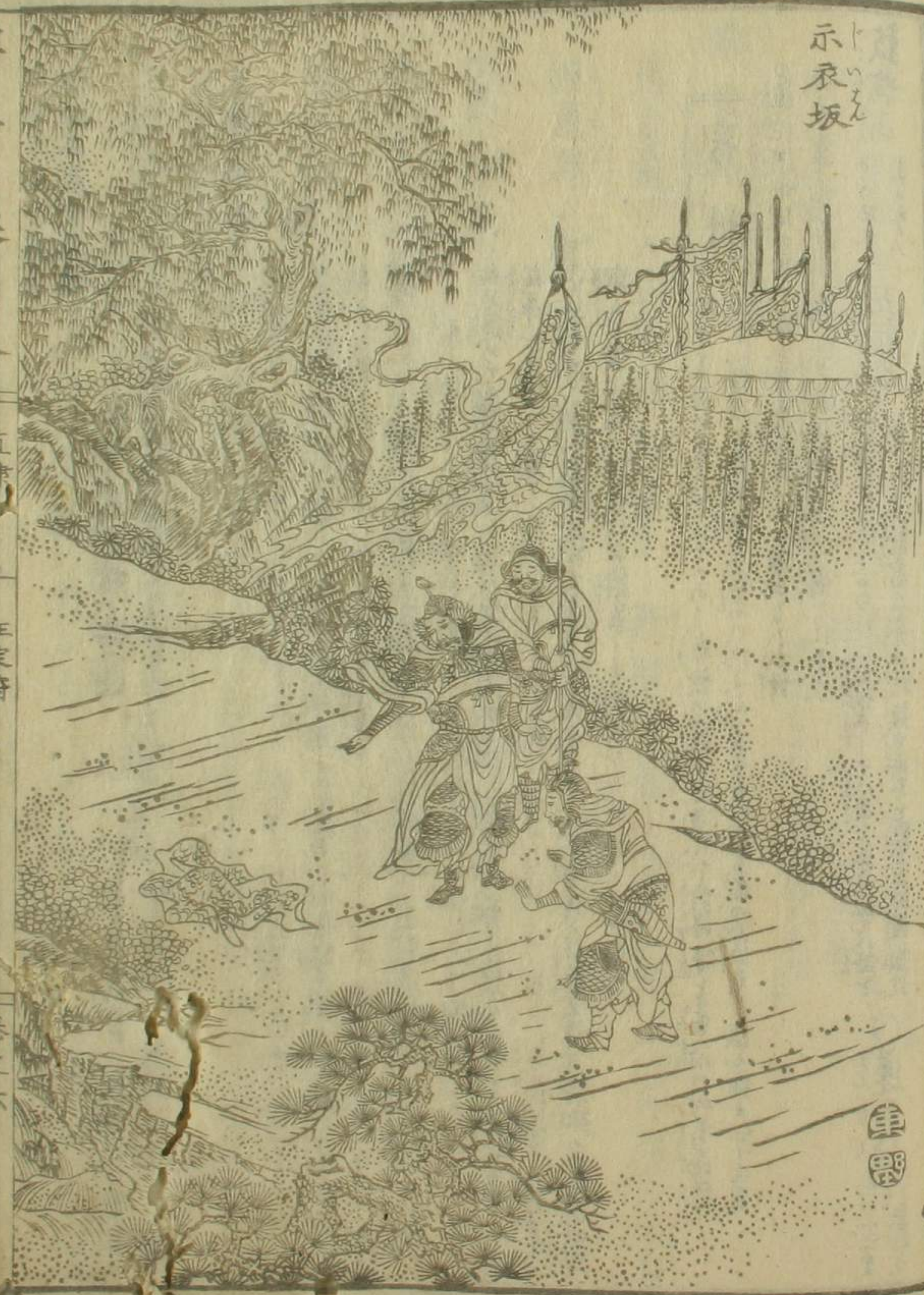
○杜姑村

杜姑村の... 杜姑村の...

○春露亭

春露亭の... 春露亭の...

亭詞鎮陽東郭... 亭詞鎮陽東郭... 亭詞鎮陽東郭...



示衣坂

依尚求延兮孫子
勿俾汝親兮鬼鏡

○義其堂 娘の西南より、後燕の慕容皝が魏の通
のより、義其堂に魏の師を以て去即此方り。

○洗兒池 義其堂の後より、相傳人相傳りて
洗兒池に洗兒す、今もその跡あり。

○人物

魏梁の人の韓玄伯と号あり、名は玄伯、字は伯也、
其妻劉氏、姓劉氏を奉りて、和州、淮南郡、石碣と号あり、姑、
玄伯と割て、玄と沛湯と和りて、進み其志、忽ち、玄伯、
署、和州、玄伯、劉氏、後、玄伯、
玄伯、劉氏、小胎と雷其心、劉氏、死別とせんと、
玄伯、進りて、玄伯、
玄伯、
玄伯、
玄伯、

晋州

○澤州、河州、城の南と流と、東、桑、桑、平、乃、二、
鼓城山、州の西、
○五龍井、
○蓮花池、

京

○人物

○人物、
○唐懿徵、

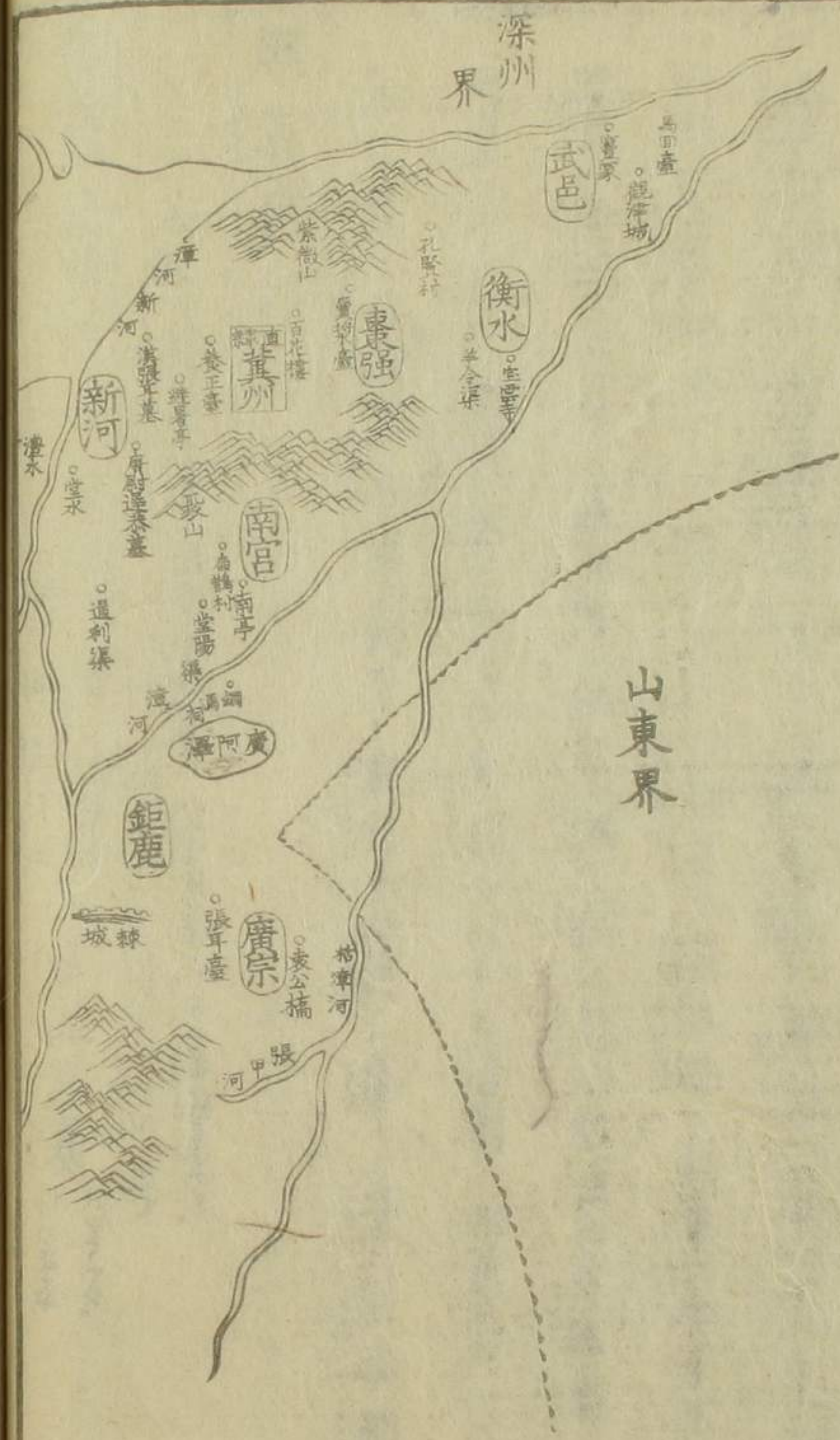
順德府

禹貢冀州乃涇周の邢國の地なり、
鉅鹿郡、
後魏、
隋、
唐、
宋、
元、
明、
清、

順德府及趙冀州總圖

順德府 東西三百里 南北百五十里

山東界

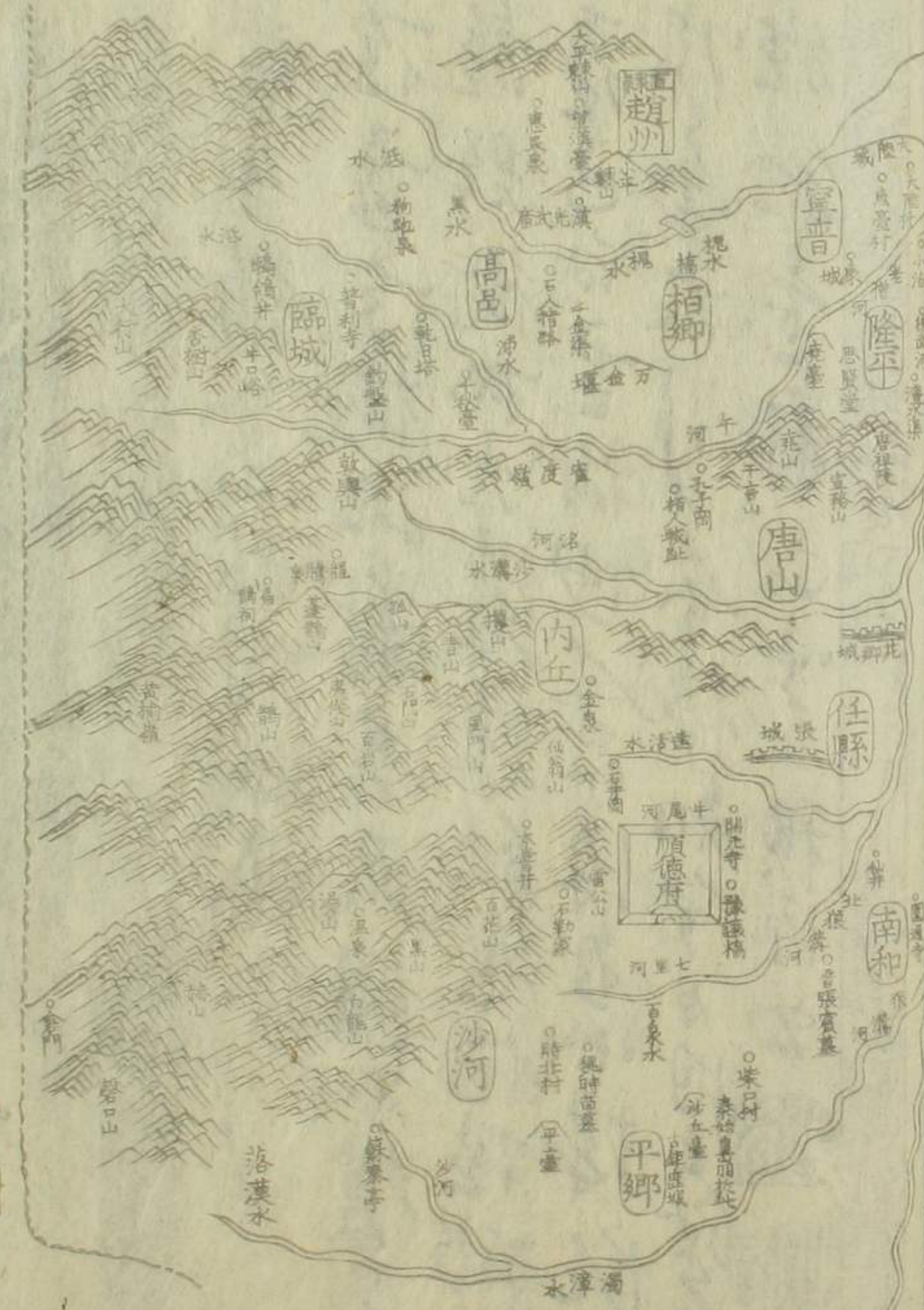


正定府界

山西界

河南界

廣平府界



直隸

順德府

卷之六

縣之西一百二十里南廣平府之永年縣乃界之西一百二十里北魏州之
柘州縣之界之西一百里北魏州之順德府之居地界之西府治之邢臺縣之西

邢臺縣

秦之信都縣隋改之龍圖縣之隋代
此之邢臺縣之北魏之龍圖縣之隋代

李于饒登邢州城樓
控石言樓此對若天涯不復在
離群街杯大苑來秋老倚樓邢
臺色白宮樹抄人家詩多出城既
月白大川分極知今日日
維然在鄴中橫垣出

遠活水

府城之西十里之遠活水

七星河

城南七里之七星河

野河

府城之西十里之野河

石門山

府城之西十里之石門山

石門山

府城之西十里之石門山

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

石佛洞

府城之西十里之石佛洞

天威

府城之內之天威

用元寺

府城之內之用元寺

天威

府城之內之天威

用元寺

府城之內之用元寺

天威

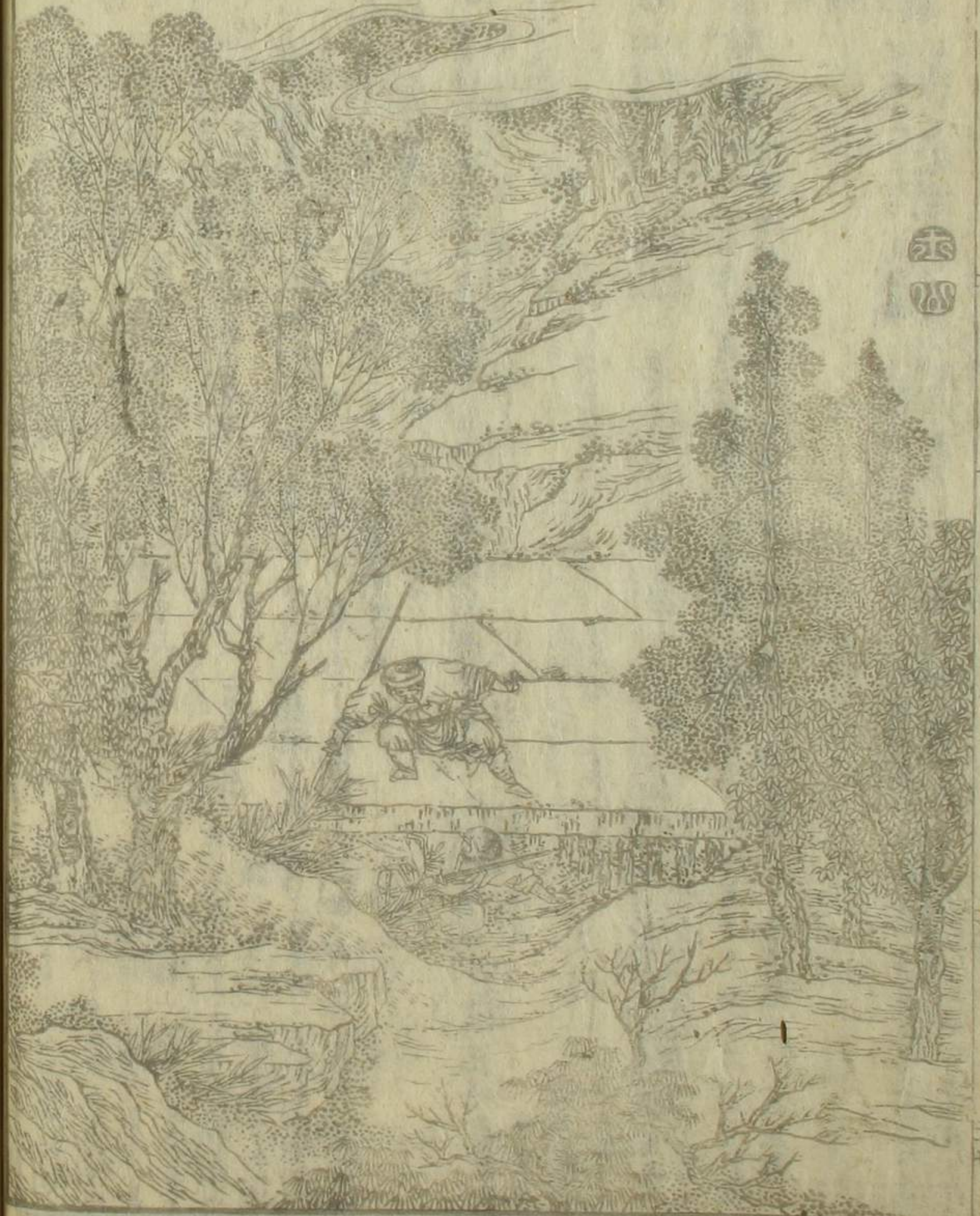
府城之內之天威

用元寺

府城之內之用元寺

豫讓

卷之六



直隸

順德府

卷之六



二賢河 府界の内より唐の

府城より西の平の地古堰と名する河也五と流す

○石勒堰 府の西十八里あり

○人物

唐の安懷遠 邢州の人なり少して孤方と号す京人慕する者多し

○名 郭守敬 邢基の人なり如して志あり故水利を委しく世祖に奉じて西夏海河の

○河内縣

○湯山

○白龍山

○赫山

○倉門

○蔡秦亭

○人物

○南和縣

○唐丞相張柬之

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

○南和縣

直隸

順德府

卷之六

南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○人物

唐の張柬之 海河の人なり少して孤方と号す京人慕する者多し

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

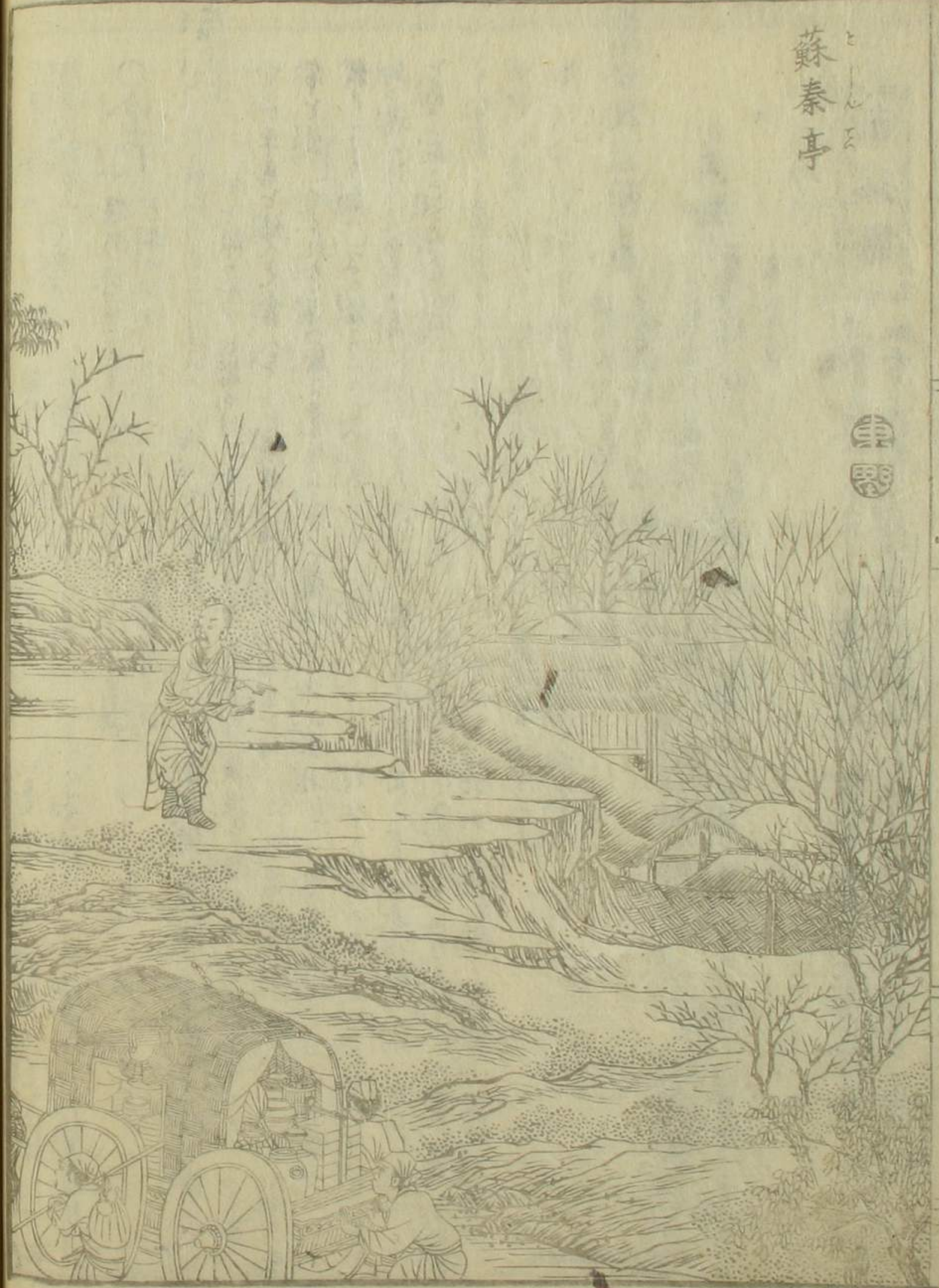
○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

○南和縣

府城の東に十里あり。南和縣あり。後周南和郡と名唐の初は

蘇秦亭



狼溝河

狼の南五里より岸上狼馬の窟ありに怪れ有る云く○冷水
狼乃西十里よりあり而泉より流る河也入狼溝河と云く

鷲馬水

狼の南より水
鷲馬の水也

儒舟

狼の北にあり其水也
舟なり

圓通寺

狼の北にあり狼の北泉中
寺なり

番張官塚

狼の西三十里よりあり番張官の塚也
西番の塚也

人物

唐の宰相顧悦之の事あり其の政刑と云く
悦之の政刑と云く

平鄉縣

府の東南百里あり漢の度平國也
後魏改て平鄉縣と云く

濁漳河

潞の西四十里あり、潞山西麓に起り、
潞縣と流て南に流るる、即古潞水の也。

落漢水

潞の西南十八里あり、
潞縣より流て南に流るる。

沙丘臺

潞の北二十里あり、殷の紂王の臺也。
臺の北に潞の東門あり、故に臺を北門と云ふ。

平甘臺

潞の北三十里あり、
不備平甘臺と云ふ。

○人物
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、

○平甘臺
潞の北三十里あり、
不備平甘臺と云ふ。

○魏時苗臺
潞の北二十里あり、
魏時苗臺と云ふ。

廣宗縣

潞の東百二十里あり、
漢の靈湯城の地也、漢の靈湯城と云ふ。

張耳臺

潞の西にあり、
張耳の臺と云ふ。

張甲河

潞の南二十里あり、
張甲の河と云ふ。

張耳臺

潞の西にあり、
張耳の臺と云ふ。

張耳臺

潞の西にあり、
張耳の臺と云ふ。

○人物
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、

拒縣

潞の北二十里あり、
拒の縣と云ふ。

○人物
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、

唐書通鑑 李少府詩 李侯雖薄官 時舉何藉々 駁馬常借人
黃金每留客 投壺華館靜 綬酒涼風夕 即此遇神仙
吾欣知損益 鳴門公書

拒馬河

潞の北七十里あり、
漢の拒馬河と云ふ。

○人物
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、

○人物
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、

○人物
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、
潞の靈變平郷乃令とある、平甘乃令、

直隸

順德府

卷之六

後一年十入りて清平より... 唐の武帝龍州と云後改て嘉山... 龍騰山... 宣... 鶴慶山...

嘉山縣

洛水條溪原より流るる... 南に内丘及び輝の西三里と流る。

于言山

輝の西二百里あり... 于言山... 于言山...

琴山

七十里あり... 琴山... 琴山...

孔子圖

崑山の西の崑山あり... 孔子圖... 崑山...

崑山... 崑山... 崑山...

相人城址

輝の西二百里あり... 相人城址... 相人城址...

内邱縣

内邱縣... 内邱縣... 内邱縣...

洛河

洛河... 洛河... 洛河...

沙溝水

沙溝水... 沙溝水... 沙溝水...

洗腸源

洗腸源... 洗腸源... 洗腸源...

龍騰山

龍騰山... 龍騰山... 龍騰山...

青山

青山... 青山... 青山...

攬山

攬山... 攬山... 攬山...

狐山

狐山... 狐山... 狐山...

蓬藜山

蓬藜山... 蓬藜山... 蓬藜山...

人物

人物... 人物... 人物...

秦漢以後分屬之郡縣多與今異其書之遺蹟
後國郡小異其制郡縣皆與今異其書之遺蹟

任縣

任水

任水東南二十里之南和縣

○澧河

任水東南二十里之南和縣

任水東南二十里之南和縣

張城

任水東南二十里之南和縣

○范鄉城

任水東南二十里之南和縣

廣平府

禹貢冀州之域春秋乃晉國也

秦郡邯鄲郡漢之魏郡

唐之魏郡魏州也

宋之魏州魏郡也

元之魏州魏郡也

明之魏州魏郡也

清之魏州魏郡也

今之魏州魏郡也

直隸廣平府

府之屬縣

永年縣

永年縣在府北

永年縣在府北

漳河

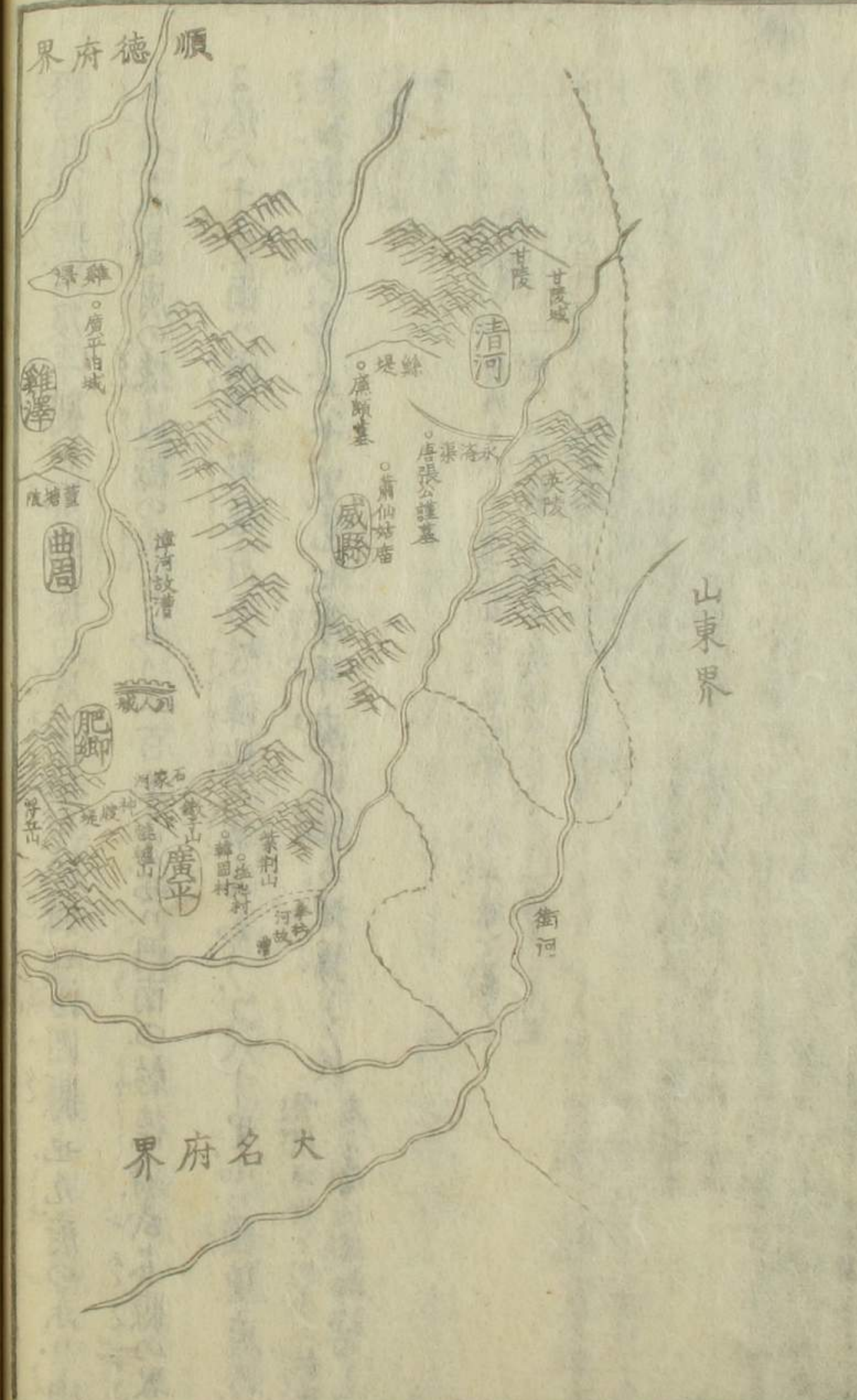
漳河在府北

漳河在府北

漳河在府北

廣平府總圖

廣平府 東西二百里 南北百四十里



順德府界

山東界

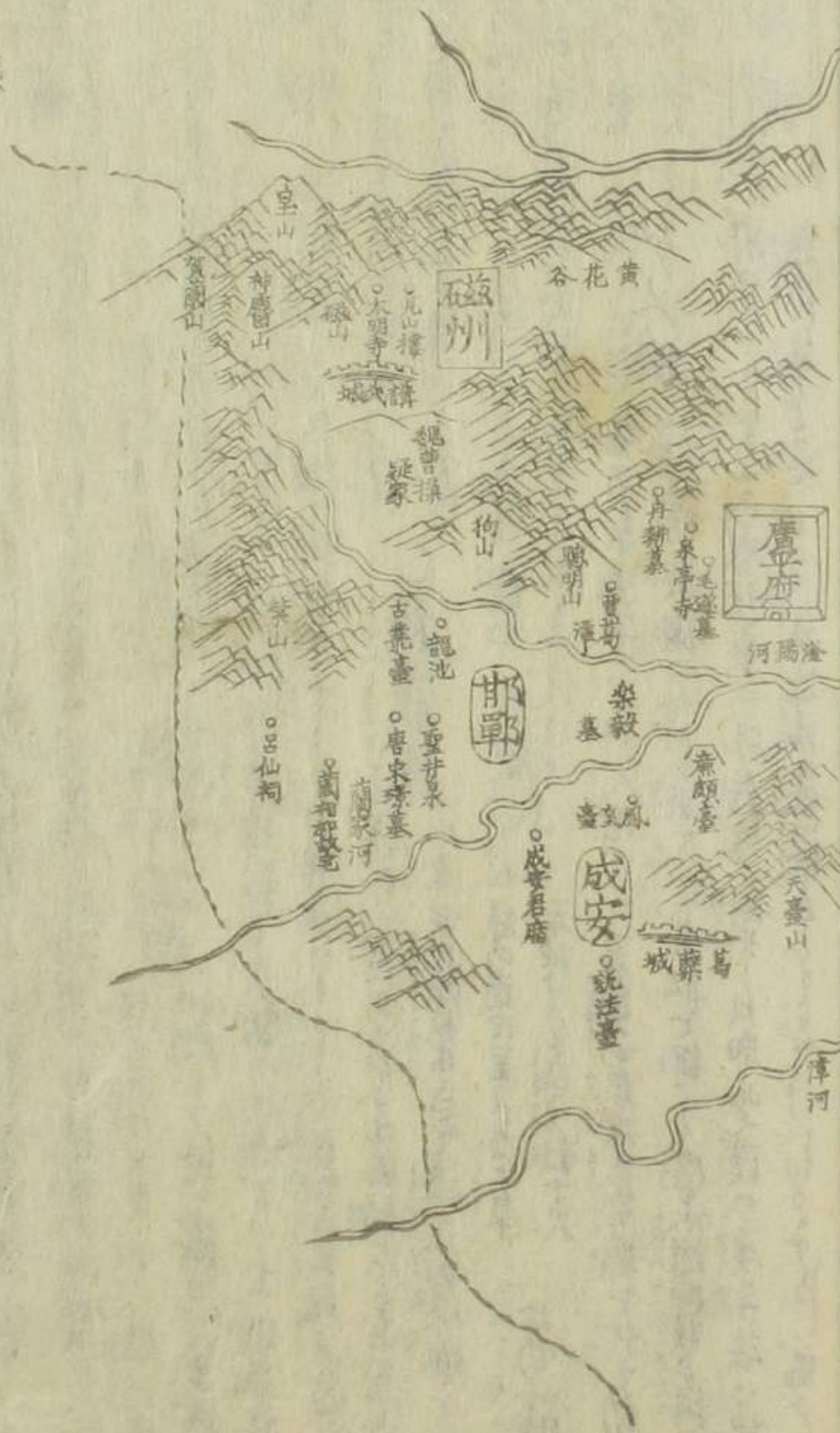
大府名界

河南界

直隸

廣平府

卷之六



聰明山

府城の西十里あり。上は聰明山。一名龍山。即郡城の北山の一角なり。

名山

府城の西七十里あり。舊の名山。劉雲圖と討賊里と此に在り。

廉頗墓

城南十里あり。

再耕墓

再耕の墓あり。再耕の墓あり。再耕の墓あり。

人物

○人物。全の書師中の洛州の人なり。嘗て曰。筆調の細勢を筆とて。筆調の細勢を筆とて。

曲周縣

府城の東四十里あり。漢代の曲周縣あり。後魏の曲周縣あり。

董塘

府城の西四十里あり。昔の劉半の墓あり。

肥鄉縣

府城の西四十里あり。漢の肥鄉縣あり。後魏の肥鄉縣あり。

石家河

府城の東四十里あり。漢の石家河あり。後魏の石家河あり。

天其山

府城の西四十里あり。漢の天其山あり。後魏の天其山あり。

雞澤

府城の東四十里あり。漢の雞澤あり。後魏の雞澤あり。

人物

○人物。宋の元達。魏の元達。魏の元達。

廣平舊城

府城の東四十里あり。漢の廣平舊城あり。後魏の廣平舊城あり。

列人城

府城の東四十里あり。漢の列人城あり。後魏の列人城あり。

浸丘山

府城の東四十里あり。漢の浸丘山あり。後魏の浸丘山あり。

葛藤城

府城の東四十里あり。漢の葛藤城あり。後魏の葛藤城あり。

鳥鴉舟

府城の東四十里あり。漢の鳥鴉舟あり。後魏の鳥鴉舟あり。

聖水樹

府城の東四十里あり。漢の聖水樹あり。後魏の聖水樹あり。

紫荊山

府城の東四十里あり。漢の紫荊山あり。後魏の紫荊山あり。

嶽子山

府城の東四十里あり。漢の嶽子山あり。後魏の嶽子山あり。

人物

○人物。元の李齊。魏の李齊。魏の李齊。

邯鄲縣

府城の東四十里あり。漢の邯鄲縣あり。後魏の邯鄲縣あり。

唐二行脚圖會

直隸

廣平府

卷之六

邯鄲邯鄲俗名「魏國」屬「趙」之屬也。俗名「磁州」屬「趙」之屬也。俗名「磁州」屬「趙」之屬也。

西河 俗名「西河」屬「趙」之屬也。俗名「西河」屬「趙」之屬也。

○蘭家河 俗名「蘭家河」屬「趙」之屬也。俗名「蘭家河」屬「趙」之屬也。

○滹羅河 俗名「滹羅河」屬「趙」之屬也。俗名「滹羅河」屬「趙」之屬也。

○聖母泉 俗名「聖母泉」屬「趙」之屬也。俗名「聖母泉」屬「趙」之屬也。

此山 俗名「此山」屬「趙」之屬也。俗名「此山」屬「趙」之屬也。

甘藷相如墓 俗名「甘藷相如墓」屬「趙」之屬也。俗名「甘藷相如墓」屬「趙」之屬也。

○粟穀墓 俗名「粟穀墓」屬「趙」之屬也。俗名「粟穀墓」屬「趙」之屬也。

○唐朱深墓 俗名「唐朱深墓」屬「趙」之屬也。俗名「唐朱深墓」屬「趙」之屬也。

○古業墓 俗名「古業墓」屬「趙」之屬也。俗名「古業墓」屬「趙」之屬也。

邯鄲道邯鄲道上起秋聲上起秋聲古木古木荒祠野潦清多荒祠野潦清多小往來小往來名利客名利客湍身塵出湍身塵出拜拜電生電生邯鄲道邯鄲道上作上作

本林世黃書



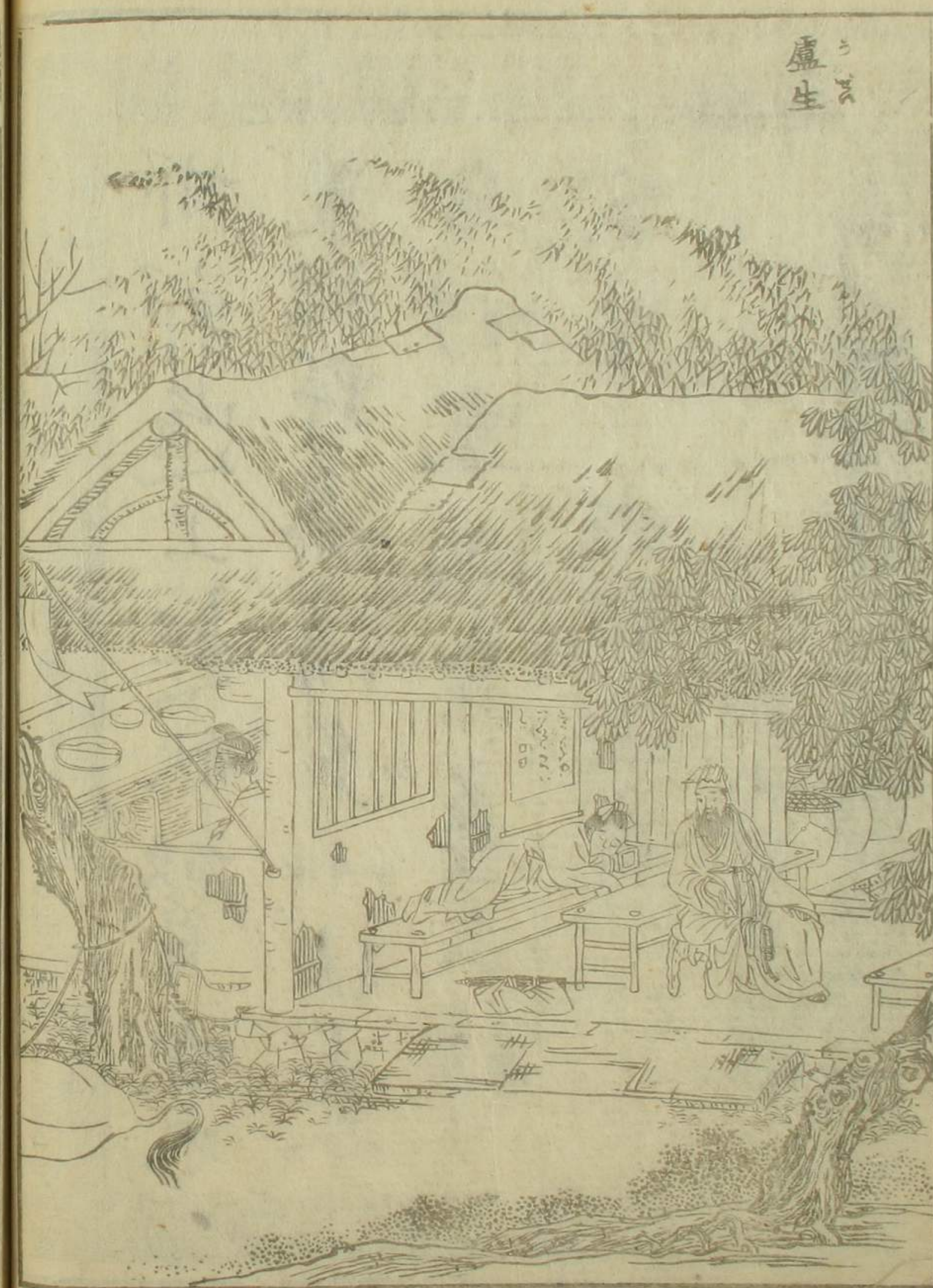
直隸

廣平府

卷之六



盧生
ろせい





邯鄲少年行 唐 高通
邯鄲城南遊俠子 自於生長邯鄲裏
子場縱博豪仍富 幾度披雖身不死
宅中歌舞笑日終 門外車馬如雲屯
未知肝膽向誰是 今人却憶平原君
君不見乎今人文 慙爲黃金用不還
珠索以茲感 願辭舊好更於時事一
無所求且與少年飲美酒 往來射獵
西山頭
皮丹書

邯鄲國之都也。其地廣而土沃。其民豐饒。其俗剛毅。其政簡放。其風氣之盛。其物產之多。其山川之勝。其風景之佳。其人物之傑。其文獻之富。其禮樂之隆。其教化之深。其風俗之美。其人心之厚。其志氣之高。其才力之強。其功業之大。其聲名之顯。其地位之尊。其權力之重。其財富之豐。其名望之隆。其影響之遠。其地位之顯。其權力之重。其財富之豐。其名望之隆。其影響之遠。

○人物

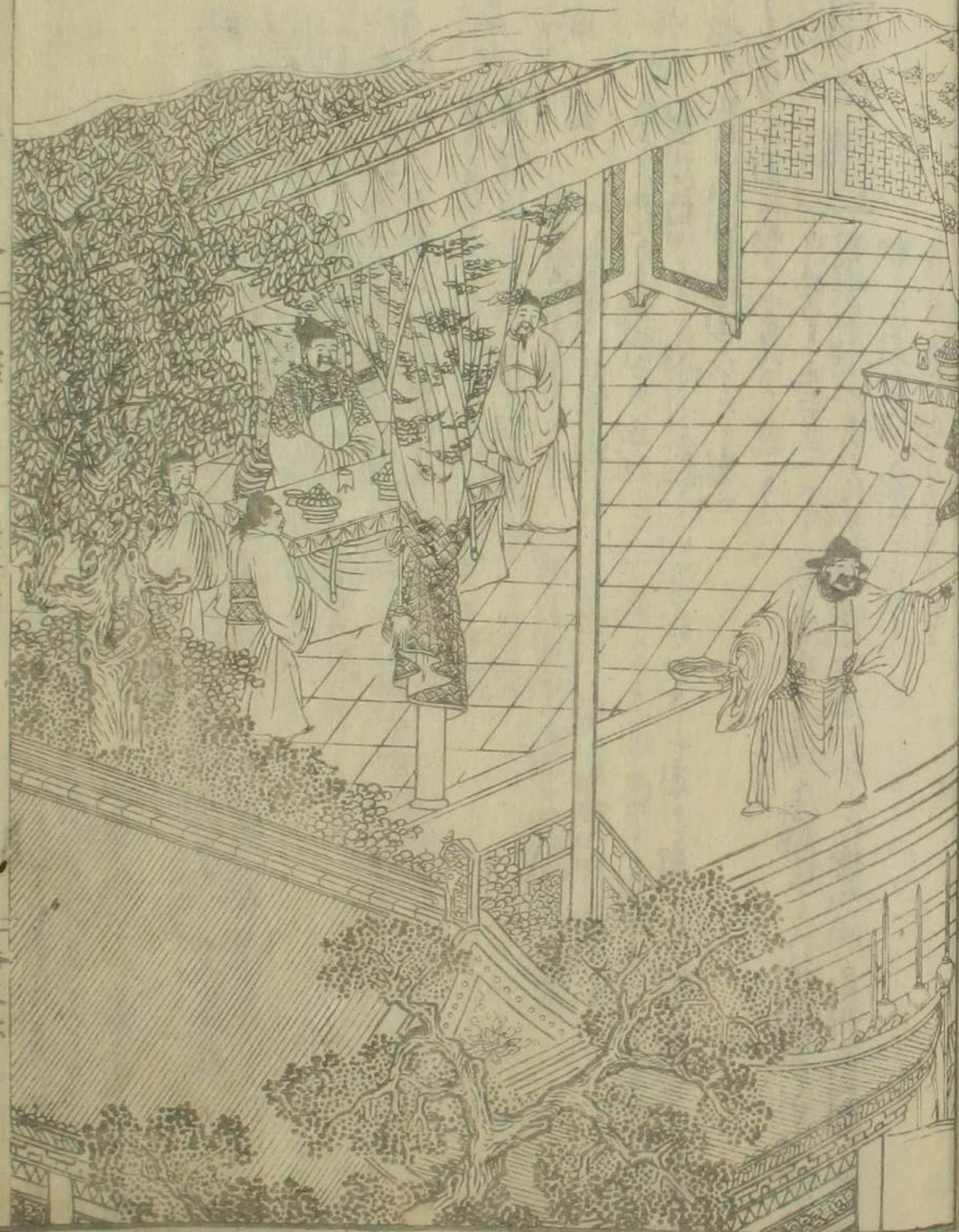
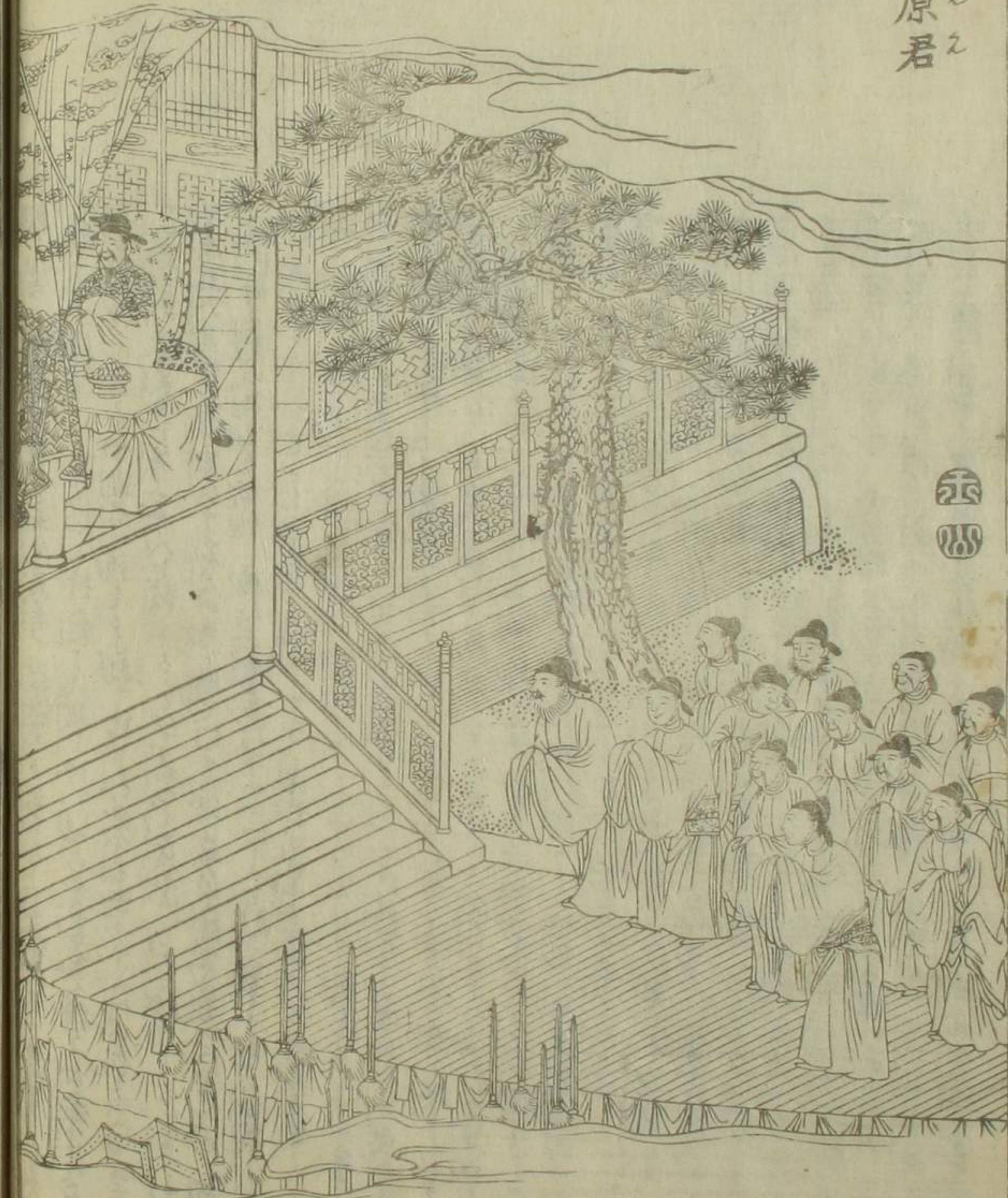
平原君趙勝。魏之將也。其家世顯。其才力強。其功業大。其聲名顯。其地位尊。其權力重。其財富豐。其名望隆。其影響遠。其地位顯。其權力重。其財富豐。其名望隆。其影響遠。

邯鄲之國。其地廣而土沃。其民豐饒。其俗剛毅。其政簡放。其風氣之盛。其物產之多。其山川之勝。其風景之佳。其人物之傑。其文獻之富。其禮樂之隆。其教化之深。其風俗之美。其人心之厚。其志氣之高。其才力之強。其功業之大。其聲名之顯。其地位之尊。其權力之重。其財富之豐。其名望之隆。其影響之遠。其地位顯。其權力重。其財富豐。其名望隆。其影響遠。

平原君

永

天



直隸

廣平府

卷之六

を得んや彌牟と得んや何を要して居て居るやと云ふ事なり故に下の者にして上者の圖に其の圖に

威安縣

○威安縣 府城の南に六十里あり。春秋高の杞侯の地。漢の初年、齊の威侯の封。後、魏の威侯の封。唐の威侯の封。威安縣の地。威安縣の地。威安縣の地。威安縣の地。

說法臺

○說法臺 毎の南に二里あり。相傳ひて威侯の臺也。

威安君廟

○威安君廟 威侯の廟也。

威縣

○威縣 威侯の地也。

蕭儂姑廟

○蕭儂姑廟 威侯の地也。

清河縣

○清河縣 威侯の地也。

永濟縣

○永濟縣 威侯の地也。

信威城

○信威城 威侯の地也。

甘陵

○甘陵 威侯の地也。

人物

○人物 威侯の地也。

磁州

○磁州 威侯の地也。

漳河

○漳河 威侯の地也。

磁山

○磁山 威侯の地也。

白玉山

○白玉山 威侯の地也。

卓荂亭

○卓荂亭 威侯の地也。

直隸

直隸

廣平府

卷之六

講武城 魏の曹操が築く

魏曹操探躬家

講武城の外にあり其城九七十二石森然と稱せり

蟻蟻往還空壙臥 騏驎埋沒 幾春秋 右宋 王安石疑冢詩

○儒母家 魏州魏元帝の母あり後漢の 仙人王母が如と傳ふる

○人物

金の窟の魏州の人なり俗性武勇なり慧性沈潜胸次九千に大空の洞澄湯の地 仰山茶と造る殿の柱上は金龍の蟠る如と傳ふる忽柱上は詩と記せる者あり曰く 人道非旭拙我道非旭巧 一根而根柴使是家縁 空云大膽して即西山は葉を 織んで春の柳は清山と梅麩し 洪浩空巖寺は燈を二つを燈籠と 晏坐して照る

大名府

禹夏冀兗二州の域高の舊都なり春秋は晋の地我國の魏鄴二國の境

秦の東郡も屬し漢の魏郡と並曹魏の陽平郡と並隋の武陽郡と并唐の

武德中魏州と改む 貞觀中都督府と改龍朔の改改て冀州と改武德中魏州と 五代

の唐の東京興唐府と改漢改て大名府と并宋の初天雄軍と并後北京

大名府と稱し金の大名府路と并元の大名路と并明の法倫大名府と并清の

と領する州一縣七日開州曰元城縣曰大名縣曰南樂縣曰魏縣曰滹陽縣曰

東明縣曰長垣縣 魏の河南の魏郡の屬し漢の魏郡の屬し隋の魏郡の屬し唐の魏郡の屬し

山東東昌府の冠縣界より九十里西の河南彰德府の魏縣界より二百

十里南の河南開封府の封丘縣界より九十里北の山東東昌府の龍岡縣界より

一百里北と大名府の治る地界より

元城縣

府治と此より春秋の魏郡の地なり漢の元城縣と並後魏の魏郡の地なり

○中河魏縣の界より流るる魏の魏郡の地なり漢の元城縣と並後魏の魏郡の地なり

王莽河

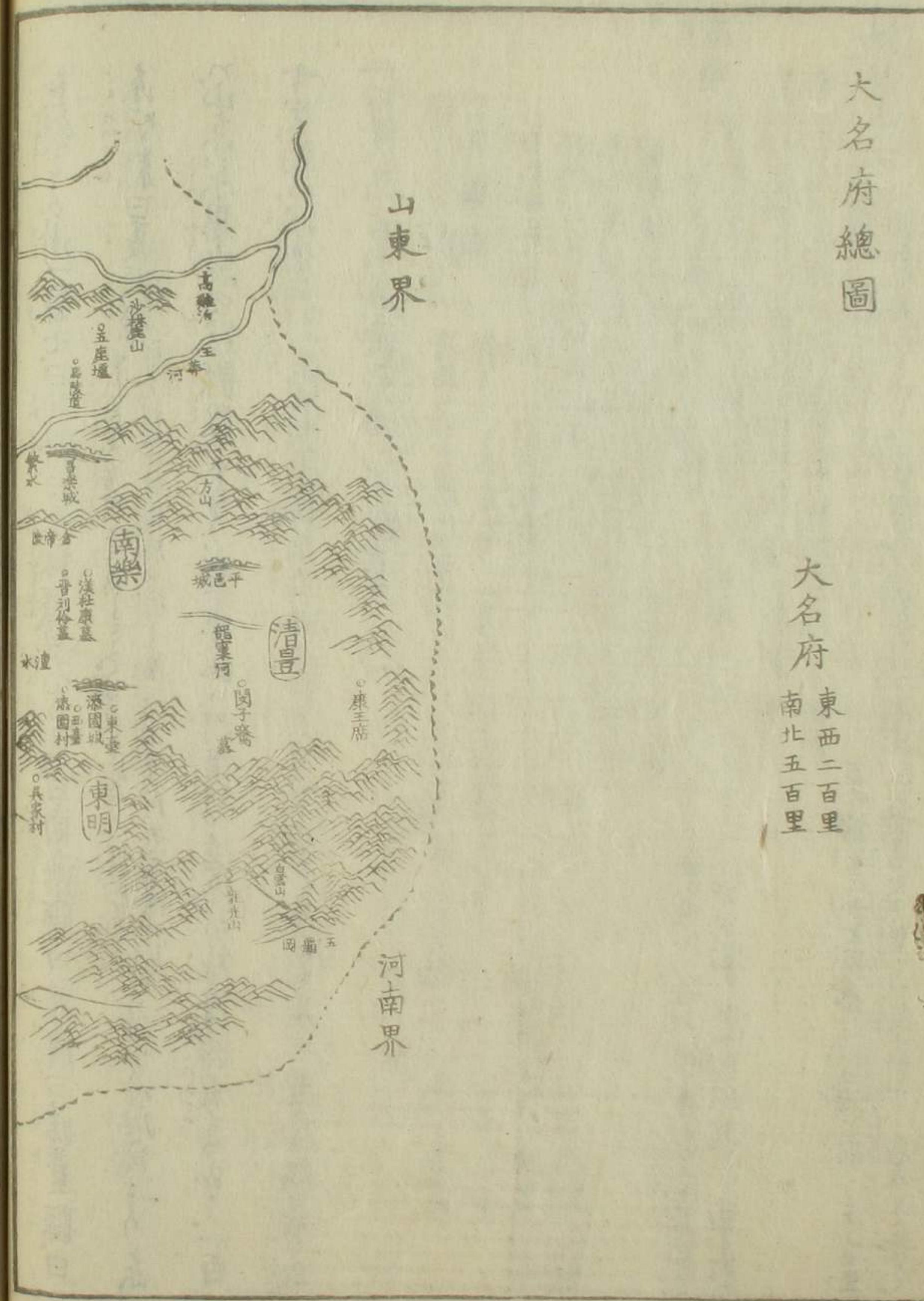
高難泊 府の界よりあり唐の中河の同義相王莽と并る者王莽の

油林泰山

府の界よりあり泰山の界よりあり泰山の界よりあり泰山の界よりあり

大名府總圖

大名府 東西二百里 南北五百里



廣平府界

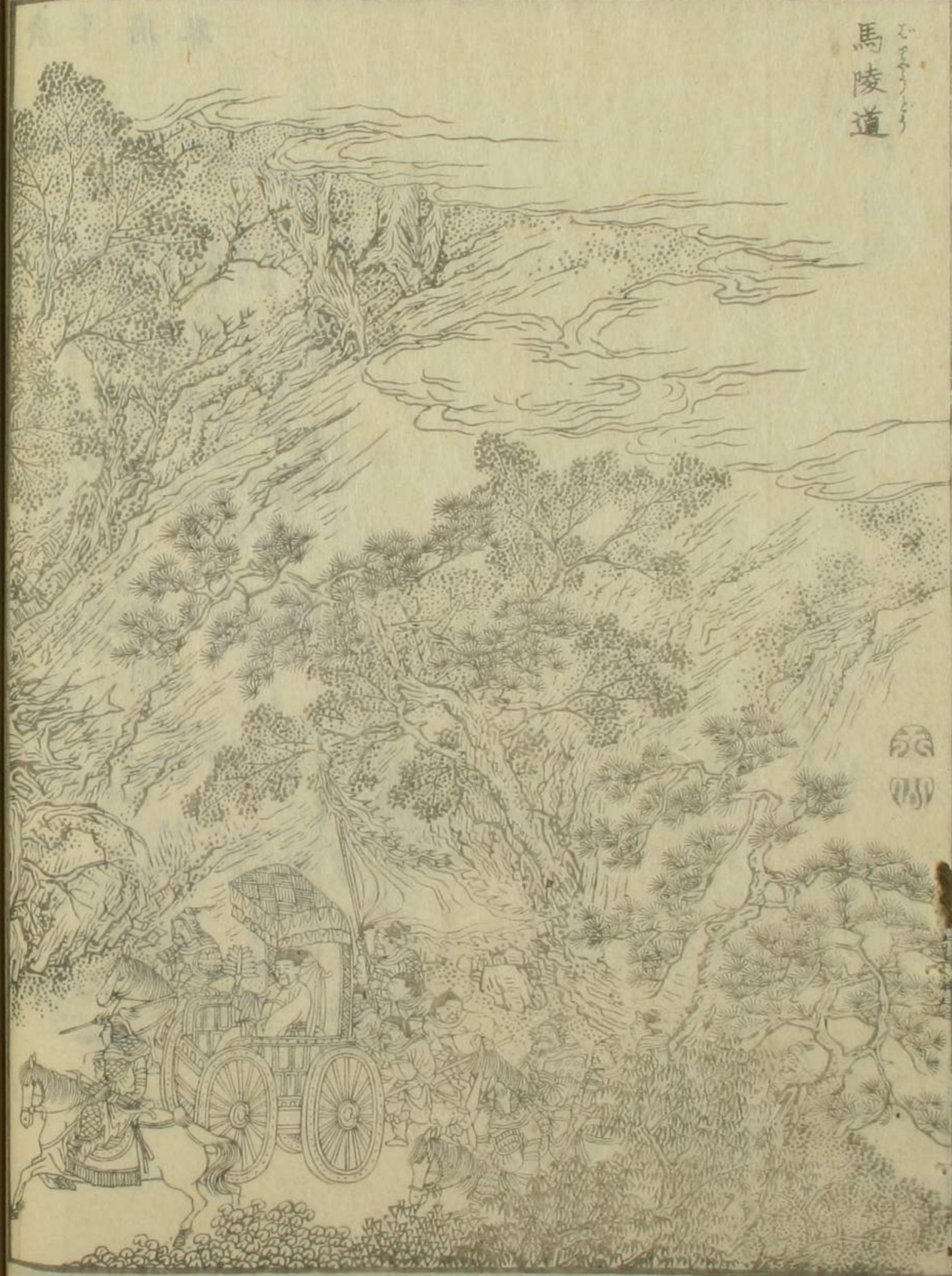


直隸

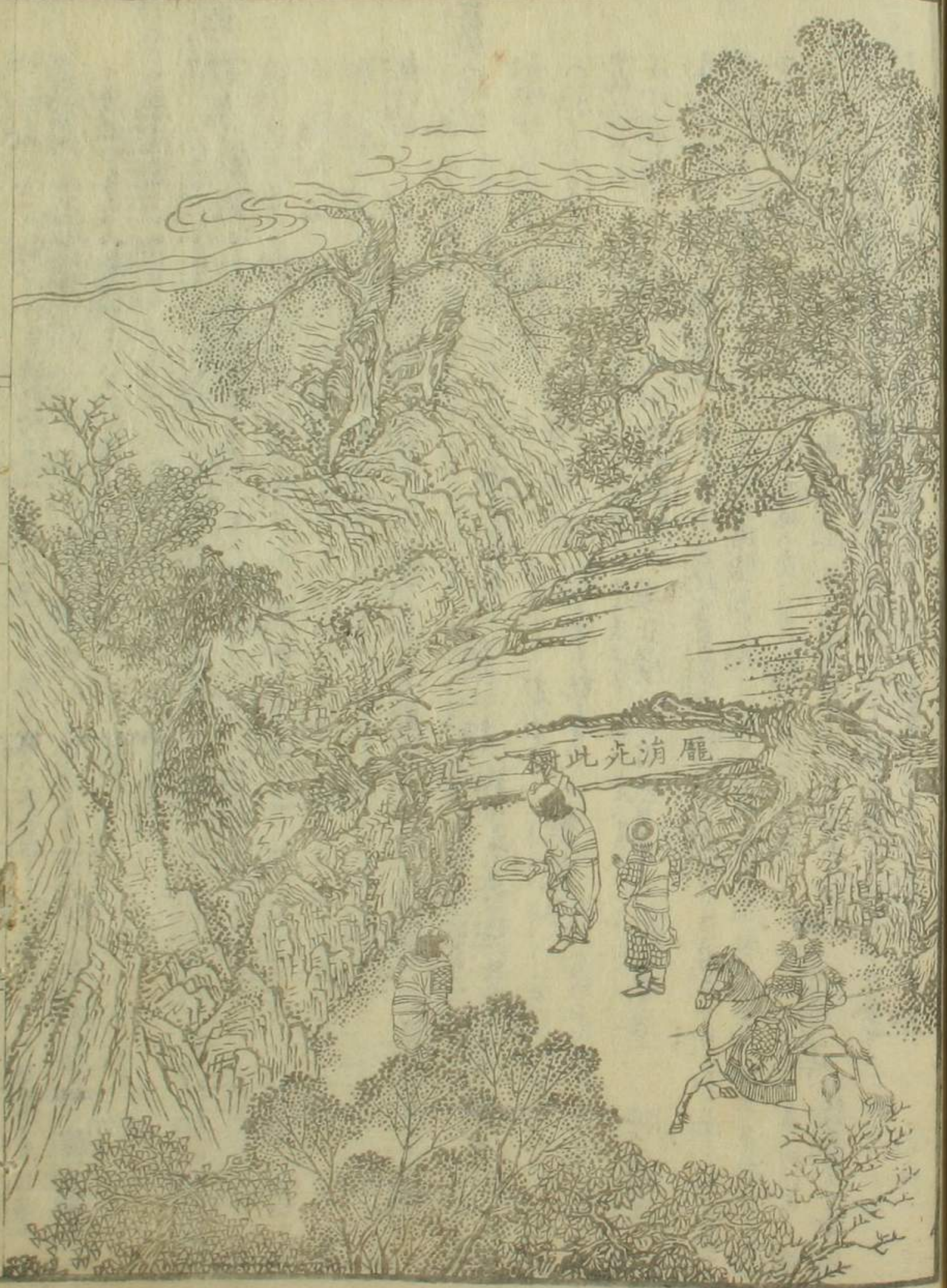
大名府

卷之六

馬陵道



馬陵道



此是消鹿

直隸

大名府

卷之六

愜山

愜山の西十五里あり。相傳、漢の成帝の侍河、愜山に...

○人物

唐の郭震、美州の人なり。少時、嘗て多財、資積に十萬の郭震、...

南樂縣

樂水

樂水の西十五里あり。龍潭、其村也。...

○昌樂城

昌樂城、愜山の西十五里あり。昌樂城、...

倉帝陵

倉帝陵、愜山の西十五里あり。倉帝、...

○人物

倉帝の陵、愜山の西十五里あり。倉帝、...

長垣縣

府城の南三十里あり春秋衛の匡邑の地漢長垣縣

蒲城

魏の南三十二里あり春秋衛の蒲邑の地漢蒲城

龍城

魏の南三十二里あり魏の龍城

鶴城

魏の西八十里あり

曹曹城

魏の西八十里あり

匡城

魏の西四十里あり

水經注云蒲城の東に匡城あり... 匡城の南に蒲城あり...

比干廟

比干の廟、魏の南三十里あり...

衛靈公祠

魏の南三十里あり...

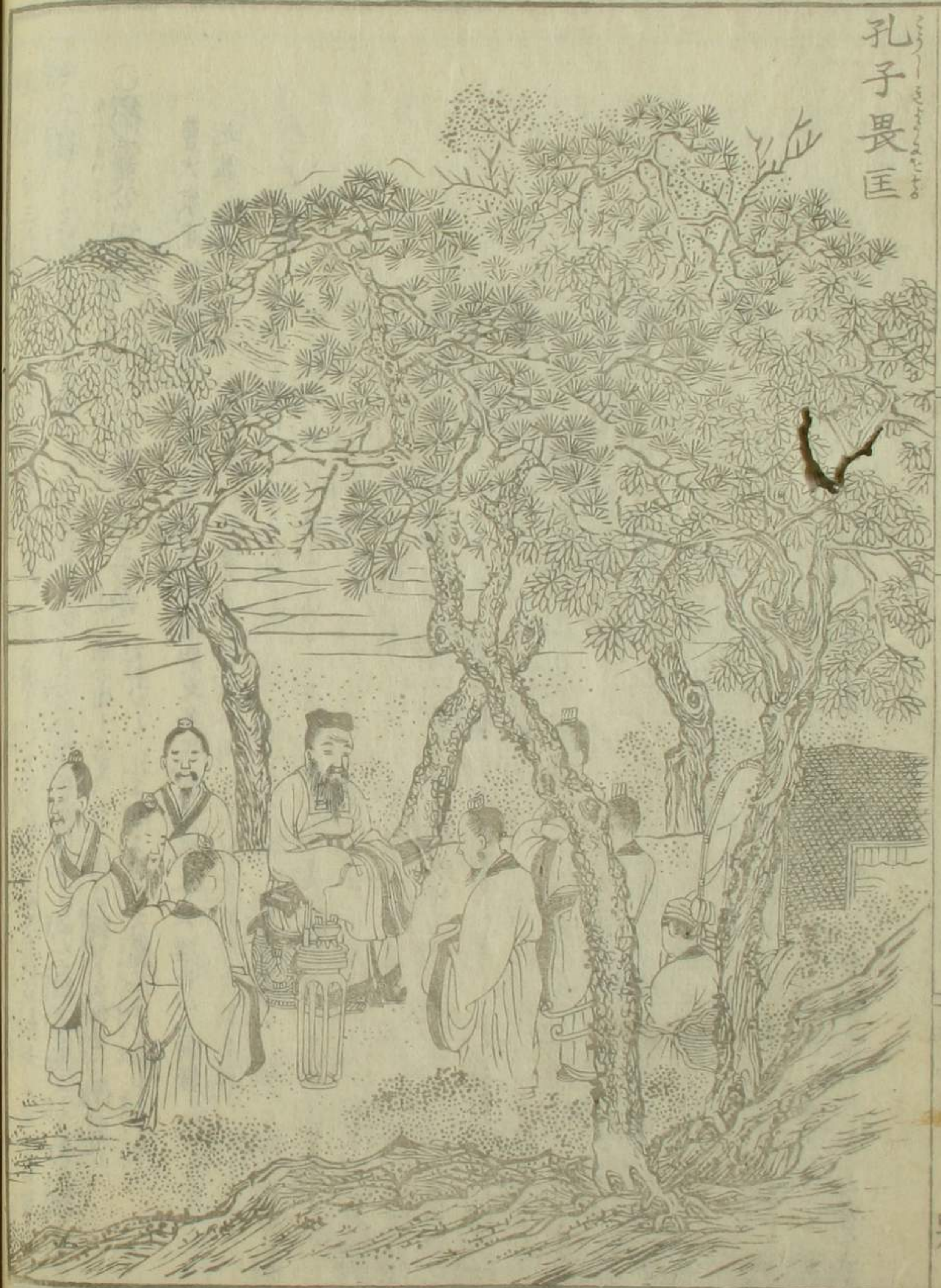
蘧伯玉墓

魏の南三十里あり...

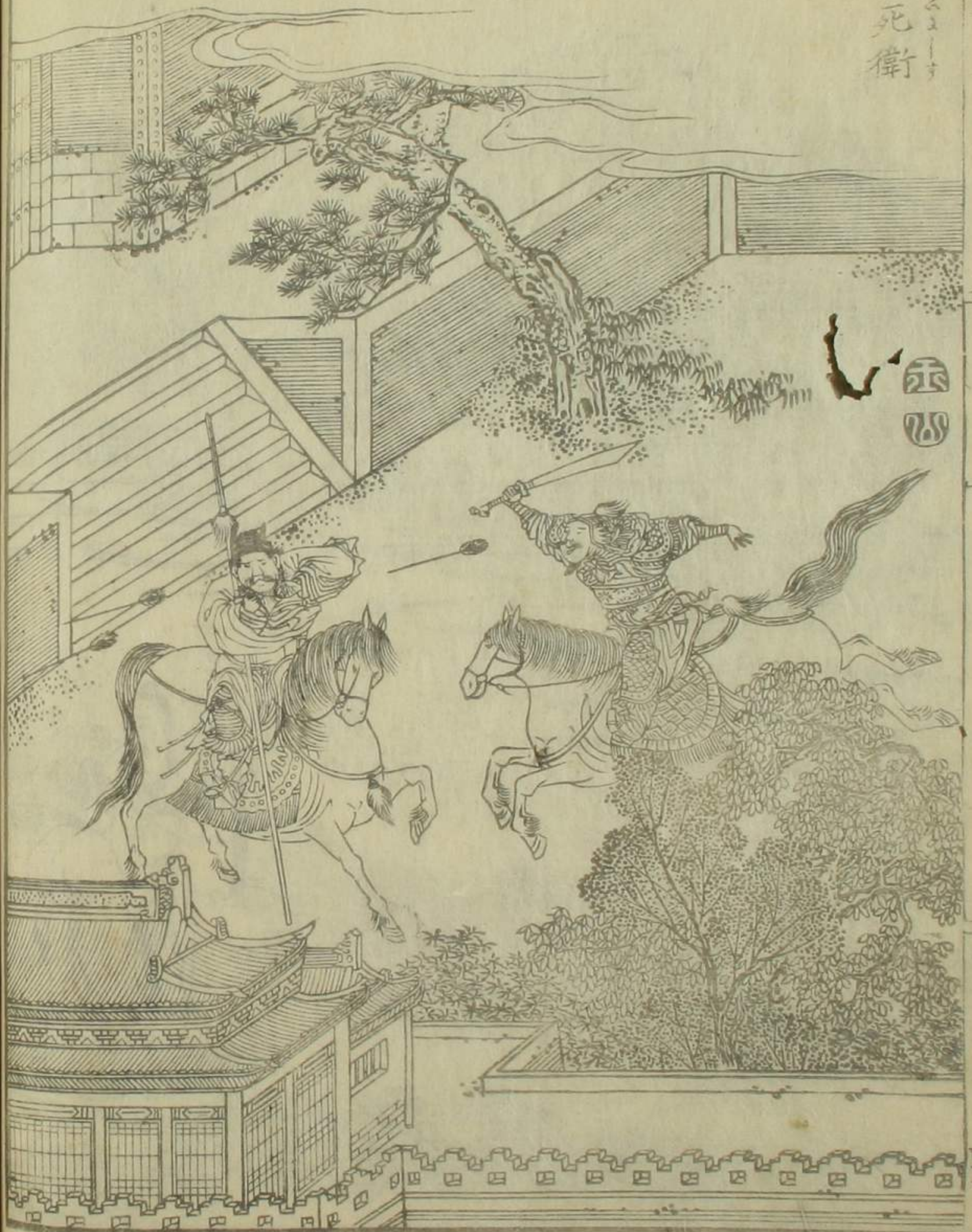
曹大家東征賦曰到長垣之境界兮察農野之居民...

人物

蘧伯玉、衛靈公の臣なり... 蘧伯玉、衛靈公の臣なり...



子路死衛



丹州

丹州の南二十里あり春秋の澠淵の地と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○涇水 丹州の南二十里あり涇水と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○西池 丹州の南二十里あり西池と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○澠水 丹州の南二十里あり澠水と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○御舟泉 丹州の南二十里あり御舟泉と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○泉源洞 丹州の南二十里あり泉源洞と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○令侯 丹州の南二十里あり令侯と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○魏侯 丹州の南二十里あり魏侯と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○後開侯 丹州の南二十里あり後開侯と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○鄗陽山 丹州の南二十里あり鄗陽山と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○秋山 丹州の南二十里あり秋山と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

○新錫山 丹州の南二十里あり新錫山と稱し秦の郡の地と漢の頓丘様の地と

直隸

大名府

卷之六

我ひは其軍平多の教習と傳ふ事にして
○旄山 卅の西南に十里有り。詩曰。旄丘之萋兮。何誕之節兮。○穢丘 卅の北八里
に在り。傳ふ事十九年。延陵
○延丘 卅の南に十里に在り。傳ふ事十九年。延陵
○延丘 卅の南に十里に在り。傳ふ事十九年。延陵

○穢丘 卅の北八里に在り。傳ふ事十九年。延陵
○延丘 卅の南に十里に在り。傳ふ事十九年。延陵

昆吾其臺 卅の南二十里有り。傳ふ事十九年。延陵

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

○五女墓 卅の西九十里有り。漢の文帝十三年。五女を命じて。記す。

宣化府

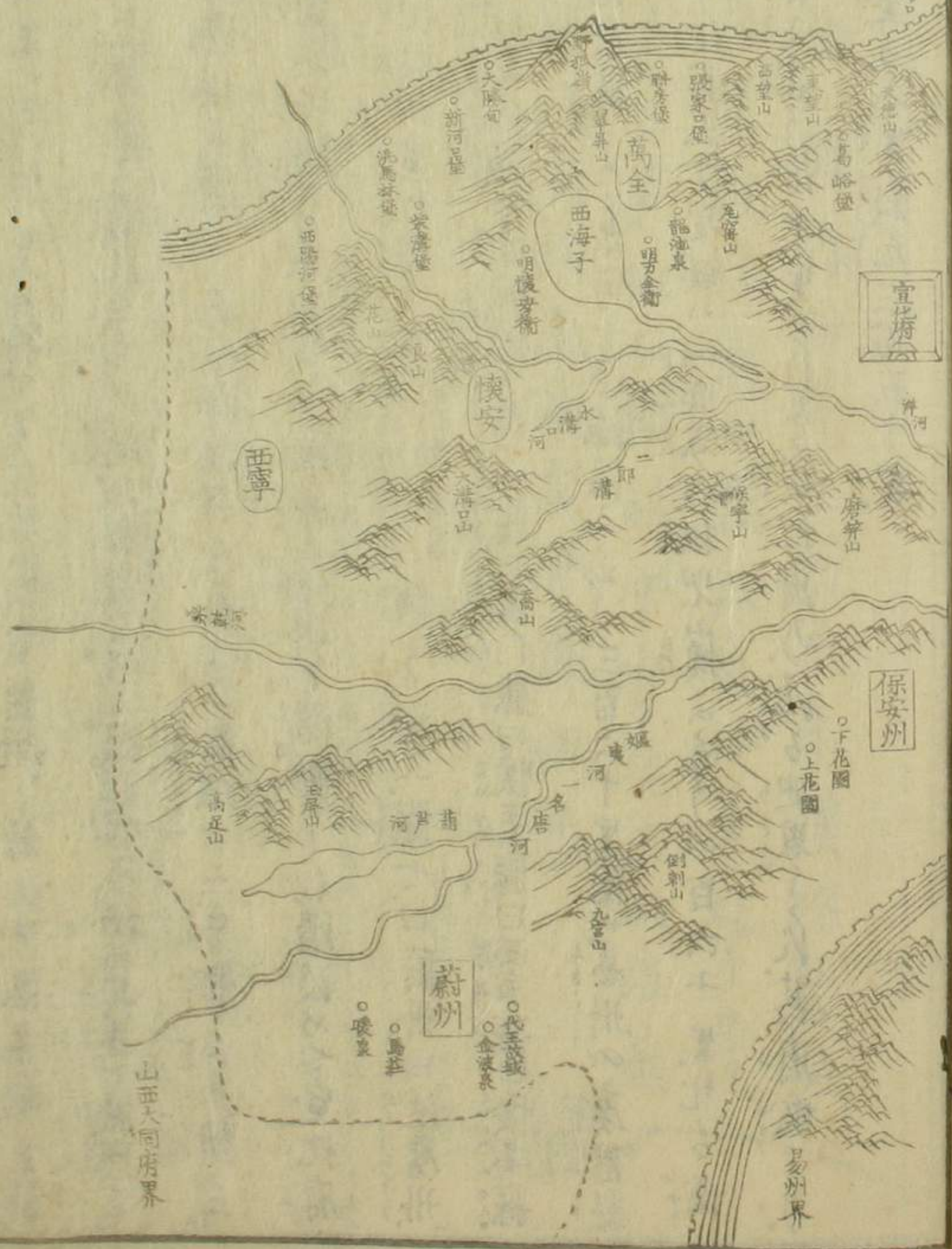
禹貢冀州の域。魏國燕の地。秦の上谷郡。漢の下谷縣と置。幽州の屬。唐魏郡と改。魏國燕の地。秦の上谷郡。漢の下谷縣と置。幽州の屬。唐魏郡と改。

宣化府總圖



宣化府 東西五百二十里
南北四百九十里

大漠界



直隸

宣化府

卷之六

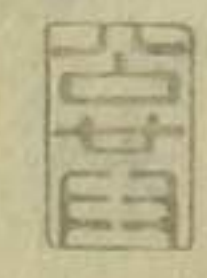
山西大同府界

易州界

後魏州と改め、遼陽郡化州とし、令の天眷の初め、宣德州と改め、山西の大同府に屬し、後大定の同改めて宣化州と改め、又宣德州と改め、中統年間、宣德府と改め、上都路に屬し、至元乃同、又順寧府と改め、明の初め、其民を國內に徙し、府縣俱に廢し、萬全都指揮使司を置、衛城十五、守禦文戶所三、堡五と築き、兵騎を聚て、塞外の北胡と防禦し、清改めて宣化府と稱し、府治宣化縣と立、宣化縣、州の南にあり、宣化府の治也。 領する州三、縣七、曰蔚州、曰延慶州、曰保安州、曰宣化縣、曰赤城縣、曰萬全縣、曰龍門縣、曰懷柔縣、曰西寧縣、曰懷安縣、是方より九府城より東の方には海治あり、三百六十里、南に易州の廣昌縣界あり、西に百五十里、西に山西界の崞山嶺あり、一百六十里、北に涿州長治あり、二十里、これを宣化府の治る地界とし、其府城より、東に至る小里、數九、三百五十里。

萬全ハ驛ヲ接シ、神京上谷千年漢將營地
 險旌旗藏殺氣、山盤鼓角壯軍容、邊
 顔竟日來紅石、鐵騎中宵度赤城、誰識
 興寧殘廢後、漠南無斗接關平

右方還宣府作 高岡公茶錄



宣化縣

洋河 府治の南にあり、流れて入る。 柳河川 府治の西にあり。 順聖川 府治の西にあり。 九龍池 府治の東にあり、水潭なり。

○湯池山 府治の北にあり、山あり、湯あり、故名。
 ○天德山 ○赤亭山 ○西亭山 府治の西にあり、山あり。

赤城縣

府城の東北三十里あり。元代雲州の石炭窟あり。岷の嶺雲門と云。北城の中城壁と築き、縣城の南に九圍城あり。たつて赤城嶺といふ。編年九里。

今の嶺はカウハクハク。北城の北に居たりと云ふ。

雞鳴秣吾馬晚飯山中行何以慰旅懷
赤城有佳名灘長石崖樹細風冷時見巖
僻間繁若丹沙明溫泉發其陽撫訶
勤百靈前峰指金閣真境標殊庭
白道人跡稀青崖雲氣生信美無少留
緬焉起深情

元黃晉卿詩

早之衡書

赤河 縣の西北あり。赤河といふ。極て白河の上源と云ふ。

西河 縣の西あり。赤河分れて二なり。一は赤河、一は西河。赤河より南に流れて赤河と云ふ。

赤城山 縣の東北あり。山の名。石炭窟あり。石炭といふ。

玉石溝山 三里有り。

長安嶺

李老峪 嶺の南あり。

石苞

長安嶺の南あり。石炭窟あり。石炭といふ。大許其嶺の北。

嘉禾亭 縣の西南三十里あり。此地嘉禾と産する。

萬全縣

府城の西六十里あり。元の宣德府の宣平縣なり。岷、教令嶺と長河、朝陽と云ふ。編年十二里。

西海子 縣の南あり。海子と云ふ。三十里あり。

翠屏山 縣城の北三十里あり。西海子と云ふ。海子と云ふ。全の周郭。

龍池泉 縣の東南あり。其の池冷なり。

瓦窰山 縣の東南あり。

野狐嶺 縣の北あり。

翠屏山 詩の去歲翠屏下東流看湧波愁將新髮鬢對舊關河。

大勝甸 縣の北あり。其の地幾處に大勝の峯あり。元李溥光詩。地接雄嶽盛山連絕塞長黃塵合古道白骨戰爭場。

龍門河 縣の北あり。龍門山の南にあり。龍門山の南にあり。龍門山の南にあり。

龍門縣

府城の東百二十里あり。唐乃龍門縣。岷代此を樹と云。後魏朝嘉興侯侯景が居たり。

龍門河 縣の北あり。龍門山の南にあり。龍門山の南にあり。

紅石山 縣の北あり。山上に紅石あり。紅石といふ。

大松山 縣の北あり。山上に大松あり。大松といふ。

懷來縣

府城の東百五十里あり。漢の潘原侯周の分懷戎侯の地。編年三里。懷來縣の北に懷來山あり。懷來山の北に懷來山あり。懷來山の北に懷來山あり。

讀書堂 縣城の北あり。

翠屏山



直隸

宣化府

卷之六



螺山 螺の山十里あり。春秋化育の山。螺の山。螺の山。螺の山。

○大海泥山 螺の山十里あり。螺の山。螺の山。螺の山。

養城池 螺の山十里あり。螺の山。螺の山。螺の山。

長城 螺の山十里あり。春秋化育の山。螺の山。螺の山。螺の山。

○廣遠城 螺の山十里あり。螺の山。螺の山。螺の山。

西寧縣

府城の西三百里あり。漢の代郡陽原縣の地。魏の代郡長寧縣と改置。弘治元年。長寧縣と改置。弘治元年。長寧縣と改置。弘治元年。長寧縣と改置。

懷安縣

府の西二百二十里あり。漢の美稷縣の地。唐の代郡懷安縣と改置。弘治元年。懷安縣と改置。弘治元年。懷安縣と改置。弘治元年。懷安縣と改置。

水溝河 螺の山十里あり。春秋化育の山。螺の山。螺の山。螺の山。

○良山 螺の山十里あり。螺の山。螺の山。螺の山。

○花山 螺の山十里あり。螺の山。螺の山。螺の山。

雲州堡

府の東三百二十里あり。其西南三百二十里あり。龍門山に堡あり。其東三百二十里あり。龍門山に堡あり。其東三百二十里あり。龍門山に堡あり。

開平廢堡

府城の南二百七十里あり。其北三百二十里あり。開平に堡あり。其北三百二十里あり。開平に堡あり。其北三百二十里あり。開平に堡あり。

蔚州

府城の西南三百七十里あり。秦の代郡蔚州の地。漢の代郡蔚州と改置。弘治元年。蔚州と改置。弘治元年。蔚州と改置。弘治元年。蔚州と改置。

九宮山 蔚の山三百二十里あり。其の東三百二十里あり。九宮に山あり。其の東三百二十里あり。九宮に山あり。

○玉屏山 蔚の山三百二十里あり。其の東三百二十里あり。玉屏に山あり。其の東三百二十里あり。玉屏に山あり。

○高足山 蔚の山三百二十里あり。其の東三百二十里あり。高足に山あり。其の東三百二十里あり。高足に山あり。

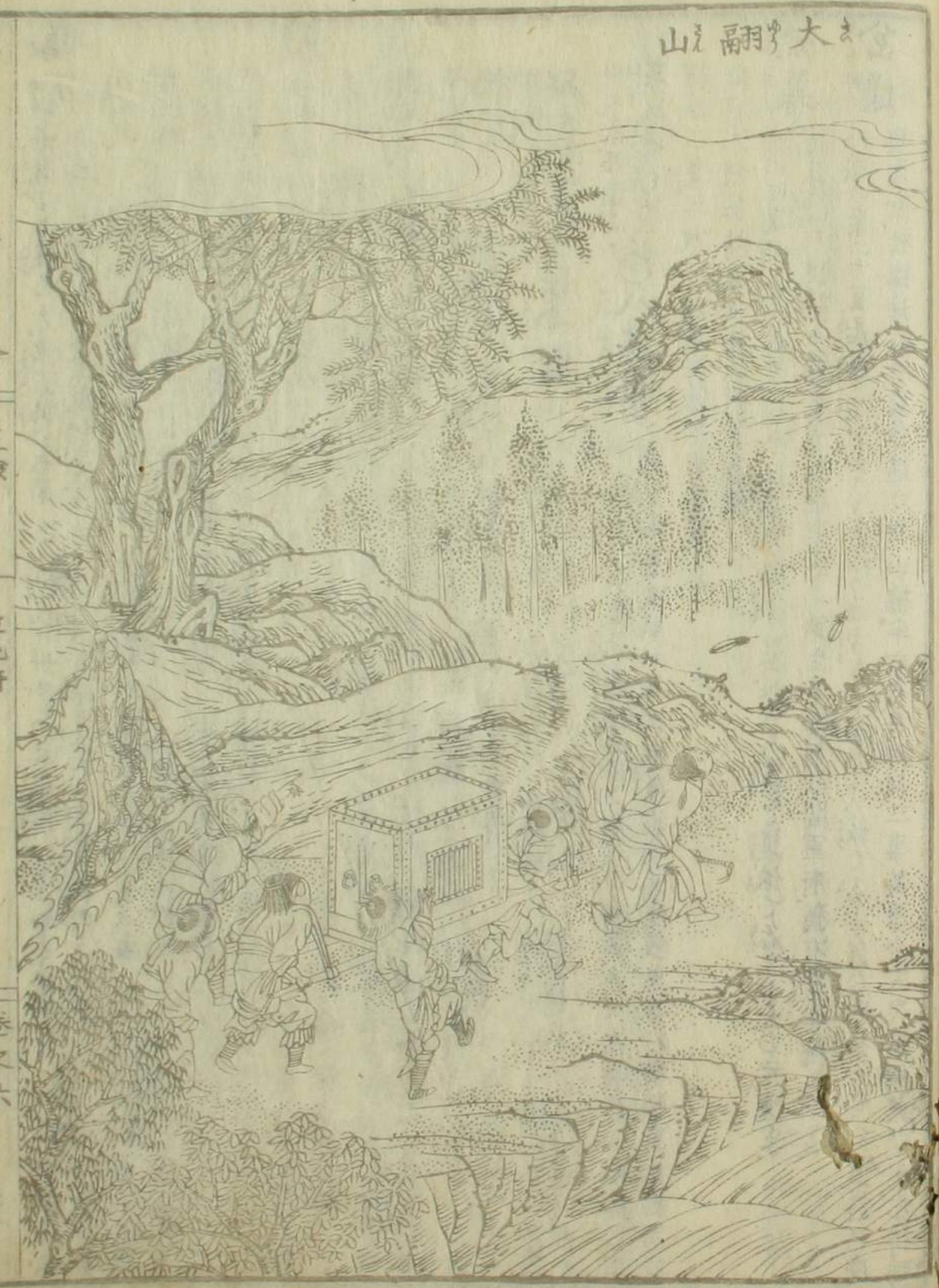
倒刺山

蔚の山三百二十里あり。其の東三百二十里あり。倒刺に山あり。其の東三百二十里あり。倒刺に山あり。其の東三百二十里あり。倒刺に山あり。

延慶州

府の東南三百二十里あり。漢の代郡延慶州の地。魏の代郡延慶州と改置。弘治元年。延慶州と改置。弘治元年。延慶州と改置。弘治元年。延慶州と改置。

大翻山



媽川 州界より流るる。漢末媽の東南。○漢河 州の東三千里。園中より流る。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。○涇河 州の東三千里。

余情

保安州

府城の南九十里あり。秦の上谷郡の地。漢の涇河と涇河と。保安州と涇河と。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

蘇轍が詩に、北渡桑乾水欲結、心畏穹廬三尺雪。南渡桑乾風怯。

和冰開易水應生波。州城の西南二十里あり。桑乾河と涇河と。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○二節溝 州城の西南八十里あり。桑乾河と涇河と。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○龍池 州の東南百二十里あり。水地より湧出。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○保寧山 州の西南六十里あり。一曰白賊山。其山頂の石、石を以て。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○涇山 州城の西南六十里あり。一曰涇山。其山頂の石、石を以て。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○涇山 州城の西南六十里あり。一曰涇山。其山頂の石、石を以て。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○涇山 州城の西南六十里あり。一曰涇山。其山頂の石、石を以て。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○涇山 州城の西南六十里あり。一曰涇山。其山頂の石、石を以て。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

○涇山 州城の西南六十里あり。一曰涇山。其山頂の石、石を以て。保安州と涇河と。保安州と涇河と。

里の山の上... 臺の首の... 直隸化州

直隸化州

春秋... 魏... 趙... 漢... 唐... 宋... 明... 清...

五里河

州城の北五里... 州の西南と...

梨木河

州の西南と... 湯河と合す...

龍門

州の南十里... 水傾瀉して...

南龍山

州の南八里... 西山相峙...

明月山

州の西南十三里... 百餘里あり...

交山

東南二十里... 西山相峙...

五峯山

州の北二十里... 山五峯並...

麻名墓山

州の北十里... 墓あり...

靈々山

州の北十里... 霊あり...

馬關俗稱

大喜峯

州の北十里... 喜あり...

玉田縣

州の北十里... 玉あり...

藍水

州の西十里... 藍あり...

光沙泉

州の南十里... 泉あり...

交輪山

州の北十里... 山あり...

徐無山

州の北十里... 徐あり...

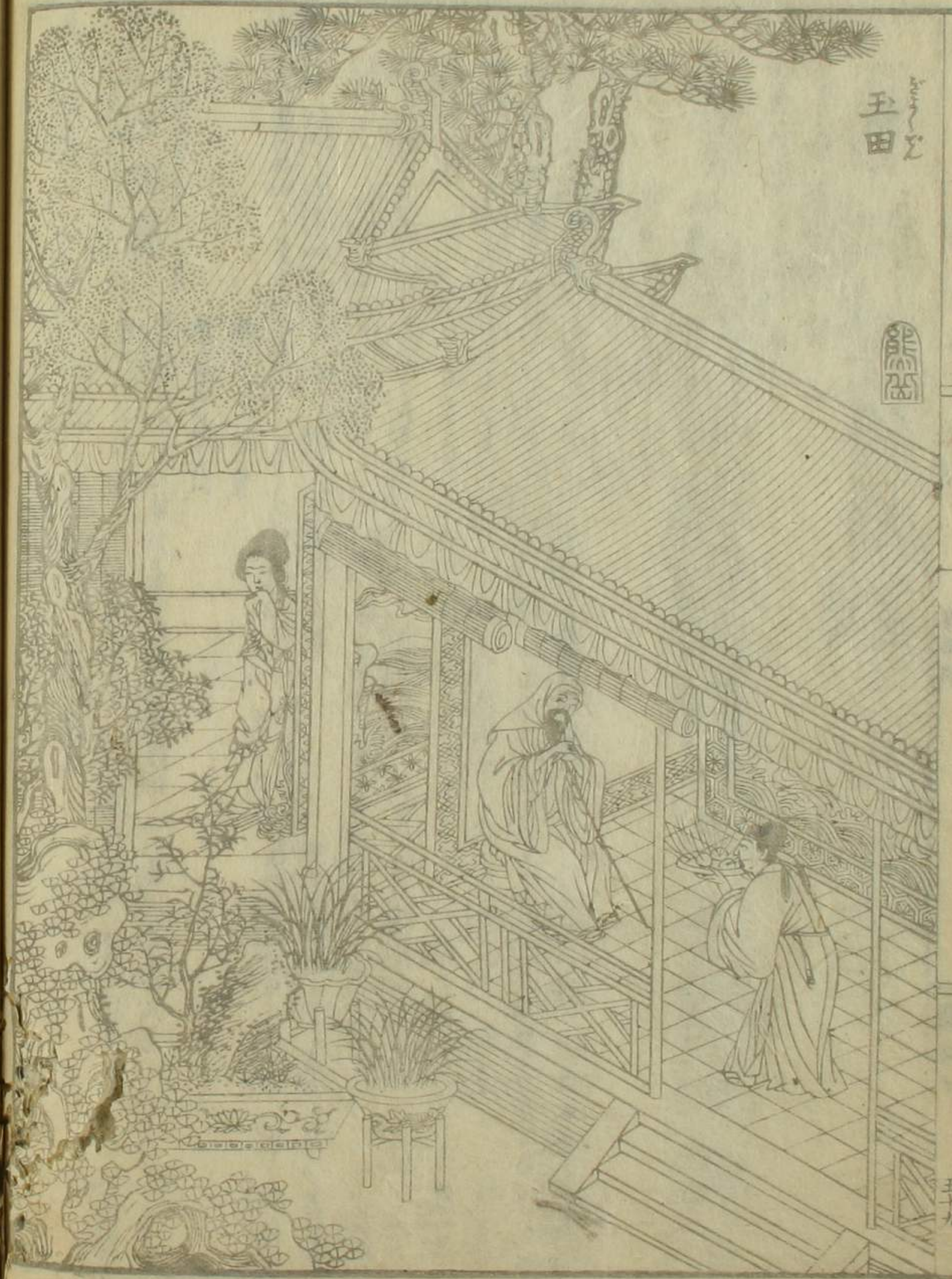
小泉山

州の北十里... 泉あり...

燕山

州の北十里... 燕あり...

五田



○人物

漢の田疇の安んずるを専ら弘くす族百人中にして徐文山の...
て親と信入る能く...
を論じて封と...
○遷の韓知高ハ王田の人...
韓知高は故曲と接接し...
○雲渡水 南と北...
○朝月山 西...
○靈應山 西...
○腰帶山 西...

豊潤縣

韓城鎮河

二十里...
○馬山 一...
○東神山 南...
○靈應山 西...
○腰帶山 西...
○山崖見 西...
○朝月山 西...
○靈應山 西...
○腰帶山 西...

直隸 易州

易州...
易州とせしめ...
易州とせしめ...
易州とせしめ...

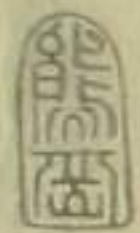
龍跡山
子子子子子



直隸

易州

卷之六



水經云易水涿郡故安縣圖鄉城乃谷中一水也
今州之西廣陽城之東入本水而流者也
州城乃水之經也拒馬河之會流也

○白濁河 州城之南三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○女思谷水 州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○五龍池 州城之西十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○龍跡山 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○紫荊山 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○大寧山 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○石鼓岡 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○契離山 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○早月巖 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○武陽城 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○武陽城 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○三公基 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○黃金臺 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

○五華樓 州城之西三十里水西山
州之西南六十里之水也思順
雷田侯 州之西

黃金臺詩

碩嗣立

伯業銷沈等劫反黃金照耀獨名臺
五國收燕地力借羣豪始郭隗
雪耻直令千載感憐才於今
猶是紉向北來

登一奪主人書

黄金臺



○荆軻滅荆軻の西王里の荆軻秦人入んと
もつ付樊於期に謀りて此に刺す

女雷

燕丹善養士志在報強嬴招集百夫良歲暮得荆卿君子死知己
提劍出樊京素驥鳴廣陌慷慨送我行雄髮指危冠猛氣衝長纓
飲餞易水上四座群英列漸離擊悲筑宋意唱高聲蕭蕭哀風折
泠寒波生商音更流涕羽奏壯士驚心知本不同且有後世名
登車何時顧飛蓋入秦庭凌厲越萬里遙遙過千城圖窮事自至
豪主正怔營惜哉劍術疏奇功遂不成其人雖已歿千載有餘情

右晉陶潛賦荆軻詩
泉州岼城宮清定書

吾三子海圖會

易州

卷之六

燕昭王廟 卅城の東南二
十里あり。

○仁賢祠 易水の上より燕の昭王廟の南にあり。昭王の廟に仁賢祠あり。昭王の廟に仁賢祠あり。

○樊將軍 卅城の西十里あり。即秦の始皇の廟にあり。

軍廟 卅城の西十里あり。即秦の始皇の廟にあり。

秦長城 卅城の西十里あり。即秦の始皇の廟にあり。

○人物

○郭隗 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○田光 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○荆軻 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○高漸離 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○荊軻 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○高漸離 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○荊軻 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○高漸離 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

○荊軻 燕の昭王の一人として燕人を昭王と申す。昭王の廟にあり。昭王の廟にあり。

涑水縣

涑水 涑水の上より燕の昭王廟の南にあり。昭王の廟にあり。

○樂平山 ○龍安山 ○亭山 ○雲溪山 ○攬山

○人物

○明の李得成 涑水の上より燕の昭王廟の南にあり。昭王の廟にあり。



李得成

度昌縣

水祥其尸を得たり世中者廢とを奉らと光澤寺近あり永樂の回改
西布政使と云々

白石山

其石は白く如くて白石山あり山石は白く如くて

鐵嶺

嶺の北に十里あり

雕宮崖

嶺の南に十里あり

登松山

嶺の西南に十里あり山路

例馬開

嶺の南に十里あり

本丸洞水

嶺の南に十里あり

比干廟

嶺の南に十里あり

李存孝廟

嶺の南に十里あり

飛狐道

嶺の南に十里あり

直隸冀州

正定府城の東南二百八十里あり春秋魏の東陽の地漢信都縣と唐景泰の府
開と及び宋漢の安平國と唐の後冀州と高麗馬番長樂國と及び唐の後冀州と
元明冀州を名て直隸府と屬之清朝改て直隸省と編之二十里あり

漳河

州城の西に三十里あり水山に源あり

洹水

州城の西に十里あり

東原山

州の西南に十里あり

紫微山

州の北に十里あり

百花樓

州城の西に十里あり

養正堂 卅州の西に在り
 漢張耳墓 卅州の西に在り
 唐尉遲恭墓 卅州の西に在り
 漢張耳墓 卅州の西に在り
 唐尉遲恭墓 卅州の西に在り

○人物

漢の望都 卅州の西に在り
 漢の望都 卅州の西に在り
 漢の望都 卅州の西に在り

南宮縣

卅の西二十里あり、漢代の舊縣なり。

堂陽縣

卅の西六十里あり、漢の堂陽縣の府、魏の南宮縣に改められたり。

新河縣

卅の西六十里あり、漢の堂陽縣の府、魏の南宮縣に改められたり。

新河縣

○堂水 卅の西六十里あり、漢の堂陽縣の府、魏の南宮縣に改められたり。

襄強縣

卅の東三十里あり、漢代の舊縣なり、北魏に本縣を置けり、唐に襄強縣と改められたり。

○人物

漢の望都 卅州の西に在り
 漢の望都 卅州の西に在り
 漢の望都 卅州の西に在り

女邑縣

卅の東六十里あり、漢代の舊縣なり、北魏に本縣を置けり、唐に女邑縣と改められたり。

馬回臺

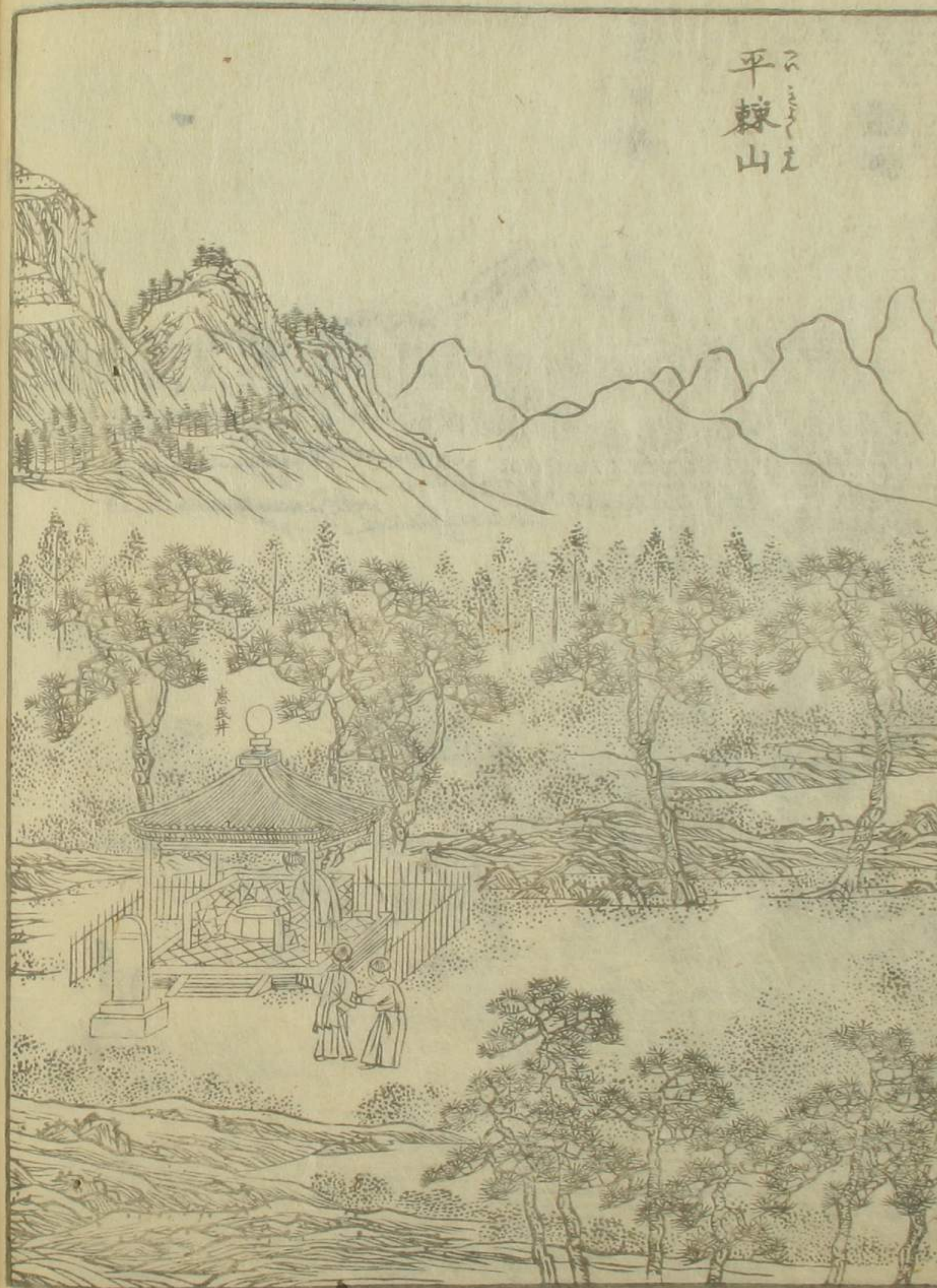
漢の望都 卅州の西に在り
 漢の望都 卅州の西に在り
 漢の望都 卅州の西に在り



馬廻臺

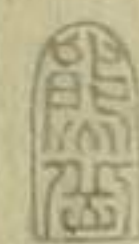


平棘山



大平棘

小平棘



望遠臺

直隸

冀州

卷之六

○人物

唐の杜康冷色の人なり性豪爽として酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

○人物

○人物

酒を造りて名を著し其の母可刑の

隆平縣

澧水

澧水 縣の南十里あり澧河の分流也

澧水渠

澧水渠 縣の南十里あり澧河の分流也

光信河

光信河 縣の南十里あり澧河の分流也

縣の東南一百里あり漢の廣河澧水の分岐也

高邑縣

高邑縣 縣の東南三十里あり秦の高邑の地也

唐祖陵

唐祖陵 縣の南十里あり唐高祖の陵也

乾日塔

乾日塔 縣の東南十里あり塔也

黑水

黑水 縣の南十里あり水也

臨城縣

臨城縣 縣の東南五十里あり秦の臨城の地也

泚水

泚水 縣の西二十里あり源は石氏也

狗跑泉

狗跑泉 縣の西十里あり泉也

猪蹄井

猪蹄井 縣の西十里あり井也

狗跑山

狗跑山 縣の南十里あり山也

杏樹山

杏樹山 縣の南十里あり山也

石山

石山 縣の南十里あり山也

牛口塔

牛口塔 縣の西二十里あり塔也

爽亭

爽亭 縣の南十里あり亭也

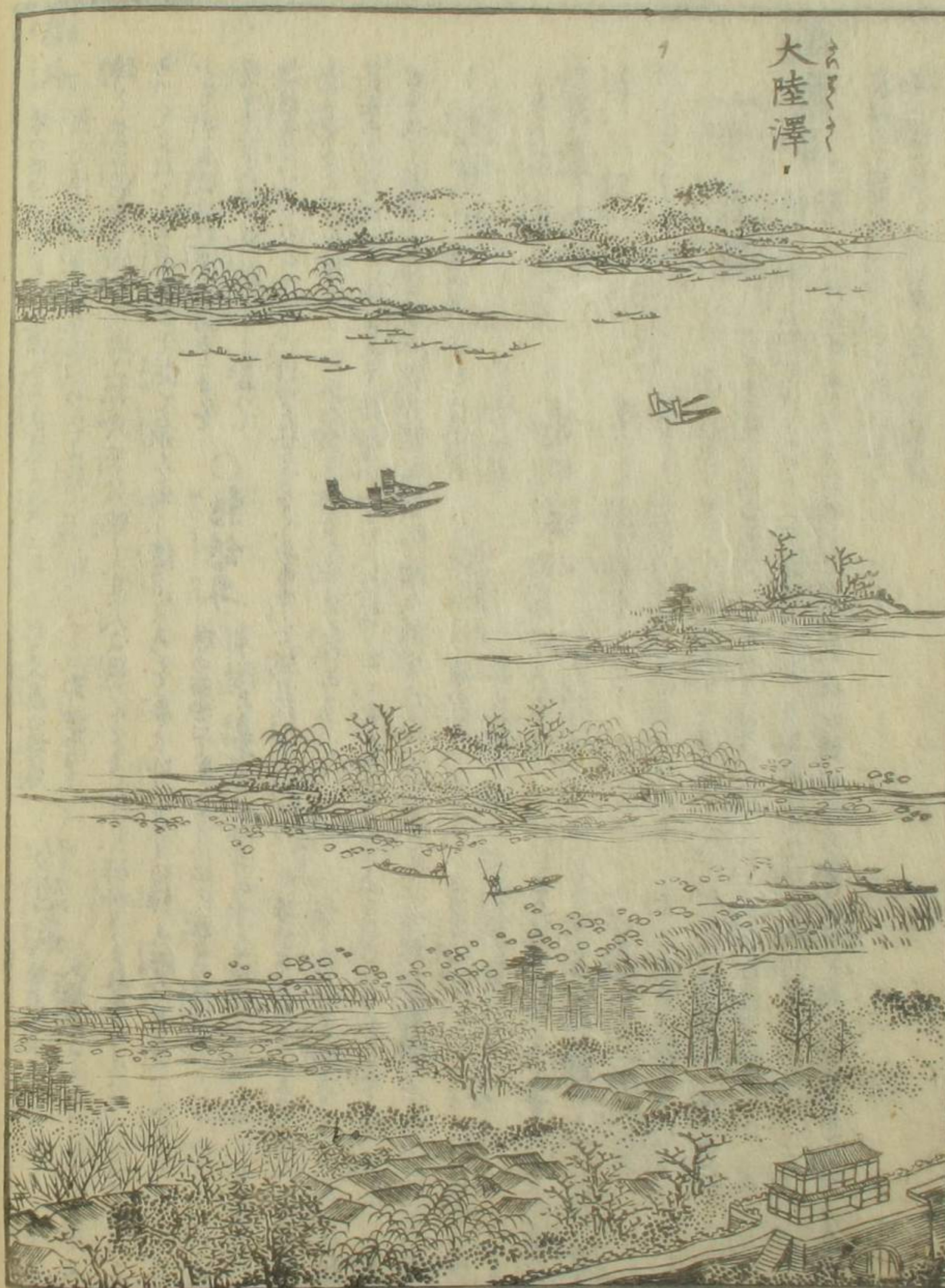
寧晉縣

寧晉縣 縣の東十里あり源は石氏也

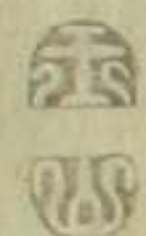
大陸澤

大陸澤 縣の東十里あり澤也

大陸澤

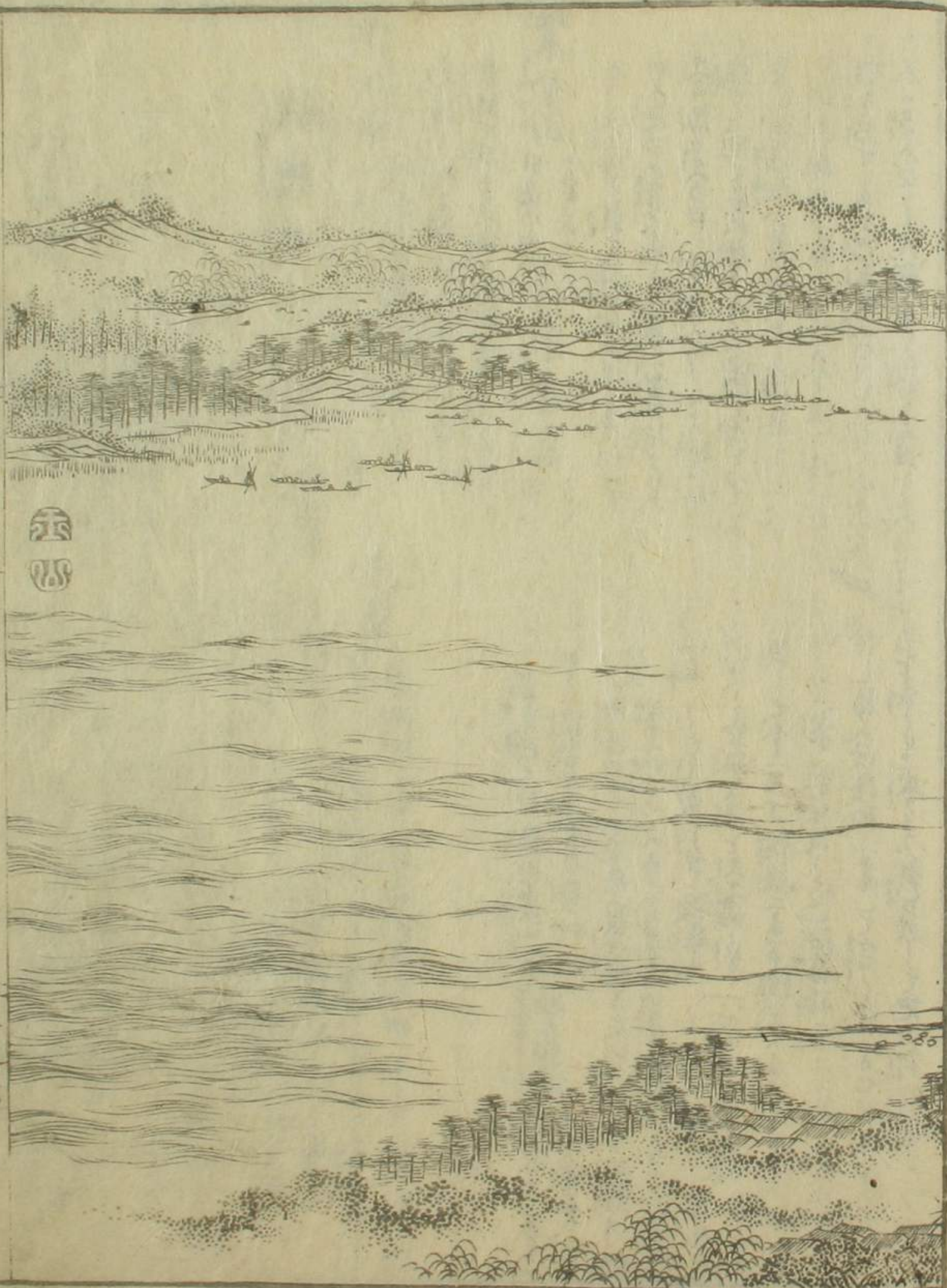


直隸



趙州

卷之六



号以後魏の道武帝二年車駕會は二幸とて入る。此城之隋の
 寧遠使使此に兵を以て厲の兵を以て思明饒陽と流す即此なり。 [蕪萋亭] ○麥飯亭
 此は魏武滹沱河の漢の老武薊より魏て饒陽の地なり。 [已]
 饒陽の地異を夏魏を建しむるを武薊亭といふ。 [已]
 馮如南 魏の南八百里あり。 [已]
 ○高王墓 魏の南八百里あり。 [已]
 ○人物 漢の毛萇は饒陽の八人なり。河間王の博才なり。

安平縣

安平縣 魏の南八百里あり。 [已]
 魏の南八百里あり。 [已]
 魏の南八百里あり。 [已]
 魏の南八百里あり。 [已]

人物

○人物 漢の毛萇は饒陽の八人なり。河間王の博才なり。
 常く詩を讀して世に名人と稱せり。 [已]
 魏の南八百里あり。 [已]
 魏の南八百里あり。 [已]
 魏の南八百里あり。 [已]

直隸州

今乃州城漢代の舊基よりて城中山あり。故に漢の向中山郡と中山
 國と号し。水經記に中山の城内の小山あり。漢の景帝の子姁と此に封して中山靖
 王と稱せり。蜀の先主劉玄德は即 靖王の孫なり。州城の承慶夫人の西あり。

涿水 州城の北八百里あり。涿山あり。 [已]
 ○涿水 州城の北八百里あり。 [已]
 ○涿水 州城の北八百里あり。 [已]
 ○涿水 州城の北八百里あり。 [已]

○涿水 州城の北八百里あり。 [已]
 ○涿水 州城の北八百里あり。 [已]
 ○涿水 州城の北八百里あり。 [已]
 ○涿水 州城の北八百里あり。 [已]

圖得黑石白脈如蜀孫知微所畫石間奔流盡水之變又得白石為大盆盛之激水其中各其室曰雪浪齋其大盆在雪浪石之窟擊之其聲如石擊之聲其水激之聲如石擊之聲其水激之聲如石擊之聲

水之變蜀兩孫無不傳歸九石異狀
駁石雪浪翻石中乃有狀理存玉井其
空丈八盆伏流飛空激其根

水蘇長亭雪浪石銘

娛弄



○園古堂

卅後之園圖云宋之韓琦建之自記云宋代良守良治之幸園六十條之
處之堂之左右乃壁之記云後之園圖李物存之傳之富強之詩之云云

○魏時基

卅之東南二十里云漢之魏武魏之南
之此云舍名以魏武基云云之魏武之魏武

○安養城古址

卅之東南三十里云魏之魏武魏之南
之此云舍名以魏武基云云之魏武之魏武

○人物

○南朝之劉亮中山之盧瑛人方少而好讀書博覽群書
○南朝之劉亮中山之盧瑛人方少而好讀書博覽群書
○南朝之劉亮中山之盧瑛人方少而好讀書博覽群書

深澤縣

八角亭

水之變蜀兩孫無不傳歸九石異狀
駁石雪浪翻石中乃有狀理存玉井其
空丈八盆伏流飛空激其根

曲陽縣

水之變蜀兩孫無不傳歸九石異狀
駁石雪浪翻石中乃有狀理存玉井其
空丈八盆伏流飛空激其根



車

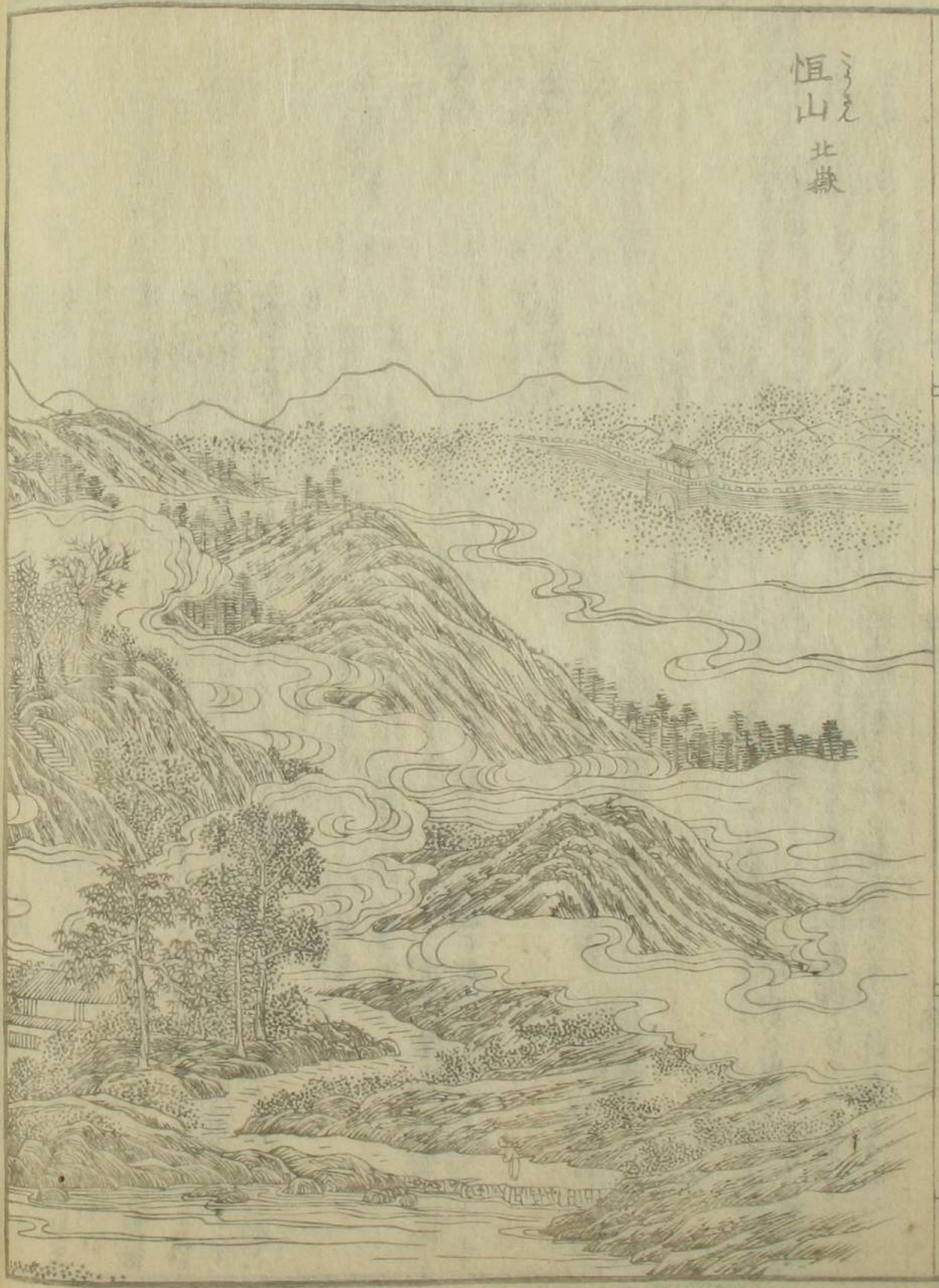
直隸

定州

卷之六

廣二名月日

恒山
北嶽



七

恒山

劉石齡

寶符玄玉奠茲麓有神上下扶坤乾曲陽飛石
 就禮祀虞舜不到恒山邊茲語荒怪誰所紀翠
 砥巖巖巖空磨鑿磁窰兩岸畫絕壁南有細運緣
 秋涇崖回水六三百丈巨石怒落隨奔泉幾年于
 此壘雲棧排空石竇鬼手穿餘村蠶齒插山腹
 落藤蔓相鈎牽平生未嘗識劍客或謂蜀道
 險亦然則劣萬仞試初步飛仙巖閣中霄懸
 常風一嘔去囊口犍牛飄墜輕鳥鷲渾一雲

霧起林際垂龍麟尾方蜿蜒紫芝殿羽隱幽
 峪黃榆颯飛晴天中有仙人整驢樹以根離
 折枝相連寒濤萬壑起松抄翠雪散落山
 亭崩夕陽晚霞段足幽眺丹竈夜光然通玄
 野人頗有濟膝具度越峻嶺如登仙俯視羣山盡
 臣庶太白巨界差隨肩茫茫一氣辨龍寒索駝
 萬隊成蟻旋丈夫寧能死章句有名須勒狼胥巔
 此心未遂身老大投足巖岫老安便遍遊五岳自
 茲始俟昏嫁畢當何年

竹窓黃書田園

蓮華寨 綠の西山に十五里あり 蓮華の山 ○香山 香山 香山

恒山 恒山の西山 一百里あり 恒山の西山 ○香山 香山

○人物 唐の魏徵 下曲陽の人なり

唐二名勝圖會卷之十一終

昇平之化宏敷。人郭無事。城市之間。都鄙遊踪。紛錯如織。表秋月夜之樂。收之書画。為文為圖。於是國朝勝事。繪以具几案。間弄焉。然未及清國之事。近世珍篇奇冊。東來者殊夥。因輯合其者。備釋者數部。纂言之。纂手。寫取於目。為觀者。積而為數卷。費多。年之力。殆傾家貲。以徯梓。苦心精力之所致。江湖君子。幸賜周顧云爾。

文化二年丙寅春

書肆淺文貫謹識



編述并圖畫

玉山

岡田友尚

圖畫

熊岳

岡

文暉

同

東野

大原民聲

校正并楷書

鳴門

荒井公廉

草書

叢玉堂

大邨安載

具圖書林

一卷自首至尾

京都

井上治 兵衛

二卷自首至廿一

大坂

市田次郎 兵衛

自廿二至尾

井上治 兵衛

三卷自首至尾

井上治 兵衛

四卷自首至四

大坂

池田長右衛門

副刷氏

自五至廿

京都

樋口源 兵衛

自廿一至廿

市田次郎 兵衛

自卅一至尾

樋口源 兵衛

五卷自首至卅二

池田長右衛門

自卅三至尾

樋口源 兵衛

六卷自首至卅七

市田次郎 兵衛

自卅八至尾

井上治 兵衛

京都書林

林 伊兵衛

著屋 儀兵衛

須原屋茂兵衛

須原屋伊 八

堀野屋仁兵衛

和泉屋庄次郎

永樂屋東四郎

江戸書林

尾陽書林

大坂書林

孰賀屋九兵衛

河内屋喜兵衛

小刀屋六兵衛

河内屋太 助

北村 總 七

河内屋吉兵衛

淺文貫上梓嗣出目錄

大阪心齋橋通北久太郎町南
書肆龍章堂 河內屋吉兵衛

唐土名勝圖會第二編

近刻嗣出

山東

濟南府 泰安府 武定府 兗州府 沂州府
曹州府 東昌府 青州府 來州府 登州府

山西

大原府 平陽府 蒲州府 潞安府 汾州府 澤州府
大同府 寧武府 朔平府 平定州 忻州 代州
保德州 解州 吉州 隰州 沁州 遼州等

河南

開封府 陳州府 歸德府 彰德府 衛輝府 懷慶府
河南府 南陽府 汝寧府 許州 陝州 光州
汝州等

江南

江寧府 蘇州府 松江府 常州府 鎮江府 淮安府
揚州府 徐州府 太倉州 通州 海州 安慶府

安徽

徽州府 寧國府 池州府 太平府 廬州府 鳳陽府
潁州府 六安州 泗州 和州 滁州 廣德州等

唐土名勝圖會第三編

近刻嗣出

福建

福州府 泉州府 建寧府 延平府 汀州府 興化府
邵武府 漳州府 福寧府 臺灣府 永春州 龍巖州等

浙江

杭州府 嘉興府 湖州府 寧波府 紹興府 台州府
金華府 衢州府 嚴州府 溫州府 處州府

湖廣

武昌府 漢陽府 安陸府 襄陽府 鄖陽府
德安府 黃州府 荊州府 宜昌府 施南府

湖南

長沙府 岳州府 寶慶府 常德府 辰州府 沅州府
永州府 永順府 衡州府 澧州 桂陽州 靖州

江西

南昌府 九江府 南康府 饒州府 廣信府 撫州府
建昌府 瑞州府 臨江府 袁州府 吉安府 贛州府
南安府 寧都州等

唐土名勝圖會第四編 近刻嗣出

陝西

西安府 同州府 鳳翔府 漢中府 延安府 榆林府
商州 乾州 頌州 興安州 鄜州 綏德州

甘肅

蘭州府 平涼府 鞏昌府 慶陽府 寧夏府 西寧府
涼州府 甘州府 安西府 秦州 肅州 階州等

唐土名勝圖會

四川

成都府	寧遠府	保寧府	順慶府	敘州府	重慶府
夔州府	龍安府	潼川府	嘉定府	雅州府	敘永同知
資州	綿州	茂州	西陽州	忠州	
達州	眉州	邛州	瀘州等		
廣州府	韶州府	南雄府	惠州府	湖州府	肇慶府
高州府	廉州府	雷州府	瓊州府	連州	嘉應州
羅定州等					

唐土名勝圖會第五編 近刻嗣出

廣西

桂林府	柳州府	思恩府	慶遠府	泗城府	平樂府
梧州府	潯州府	南寧府	太平府	鎮安府	西隆州
鬱林州等					

雲南

雲南府	大理府	臨安府	楚雄府	澂江府	廣南府
順寧府	曲靖府	姚安府	鶴慶府	武定府	元江府
永昌府	開化府	鎮沅府	昭通府	永北府	
麗江府	廣西府	普洱府	廣西府		

貴州

貴陽府	思州府	思南府	鎮遠府	石阡府	黎平府
安順府	南籠府	都勻府	平越府	大定府	遵義府

銅仁府

唐土名勝圖會第六編 大尾 近刻嗣出

盛京

奉天府 錦州府

盛京二府北地不治直隸永平府乃東より南より大海より距り北黑龍江より接し東南よりわがまゝ朝鮮國も界を清朝の豊沛より今も於殿閣寢陵珠玉相かゝる五部尚書百官設ふこと一より京師よなをじ第二編より五編まで十七道を歴舉し輿地の全圖をなすよりめ斯編は是編編しより吉林黑龍江喀爾喀扎薩克等邊塞に大槩を附記し唐土名勝圖會全部に一大首尾撃手應じせり

萬壽盛典圖會 全部六冊 近刻嗣出

一冊 康熙正誕圖

此書ハ康熙皇帝六十此賀ふ皇子皇孫文武乃百官各々歌頌表奉り天下に萬民都々來りて萬歳を祝ふも様紙畫圖より著せしかる先暢春園より神武門に至るまでの造城道を闊九二十里余もをかり餘り餘坊より色々此錦或ハ五色此絹紙用之家と信ると廊と信ると恒紙信り

燈棚と張百戲或雜役を以て御駕を迎へて天教或拜し老人の道は左
 右に從て行幸は法供或は儀時又諸皇子の大壇を建て萬壽經をとなす
 都は氏ハ慶祝の劇湯をかしこく萬歳或壽を又道は左右より百老の圖或
 仙の或ハ山海の珍物或献上は綵廊より耕作の圖乃人形織縫の圖乃人形
 又農桑の事或ハ牡丹の蝴蝶葡萄の長亭かと作らばいかに或は
 五色の絹袴の錦を以て作らば御製の詩一首を書き添へ古くは
 或は或盛事かたよく議しよく有様或畫圖よりつし形後代も示
 んと次其官板刻を以て萬壽盛典とらふかたよく今刻も亦
 圖會六冊ハ其成本を以て翻刻し形或は注釋或は加へるとは



大正十一年六月二十日

